



Gunma Museum of Art,  
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

群馬県立館林美術館年報 平成14年度

# Annual Report

---

---

---

---

## 目次

• 展覧会 p.5

A 展覧会一覧 p.5

B 企画展示記録 p.6

C コレクション展示記録 p.24

D 観覧者数一覧表 p.46

• 教育普及 p.47

A 講演会 p.47

B 作品解説会・ギャラリートーク p.47

C ワークショップ p.49

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ p.50

E 美術講座 p.50

F ミュージアム・オリエンテーリング GMAT探検隊 p.50

G 子どもミュージアム・スクール p.51

H 学校連携その他 p.52

I 刊行物 p.54

J ボランティア p.56

K 友の会 p.56

• 所蔵資料 p.57

A 美術作品 p.57

B 図書資料その他 p.68

• 関係者および職員名簿 p.69

---

---

## 展覧会

## A 展覧会一覧

## (1)企画展示

展覧会名	会期、会場	内容
「ニルス＝ウドー自然へ」	3/30～5/26 展示室2～4	133点の写真作品と、作家が来日して美術館の前庭で制作した野外彫刻により、ニルス＝ウドの活動の全貌を日本で初めて紹介。
親子のための美術展 素材との対話シリーズその1 「不思議いっぱい 紙のワンドーランド」	7/20～9/16 展示室1～4	紙の持つ表現力が活かされている絵画や版画などの美術作品に加え、紙を素材として制作をおこなっている現代作家の作品を展示。紙そのものについて知ることができるコーナーも設け、紙の製法などについても紹介。
「北大路魯山人展 食のこころ、器のたのしみ」	9/28～11/25 展示室2～4	書・陶芸・漆芸・日本画と多彩な分野で才能を発揮し、稀代の食通としても知られた魯山人の作品を107点展示し、幅広く紹介。

## (2)コレクション展示

タイトル名	会期、会場	内容
現代の彫刻	4/2～7/14 展示室1 9/18～3/30	保田春彦、土谷武、マリア・ルゴッシーなど。
ルドン 醒めない夢	6/4～7/7 展示室2	幻想的な世界を、油彩や版画に表現したルドンの作品。
シャガールの 『死せる魂』と『ポエム』	6/4～7/7 展示室2	ロシア人作家ゴーゴリの小説のために、シャガールが制作した挿絵版画を紹介。
愛と苦悩を描く ムンク	6/4～7/7 展示室3	ムンクの作品を、版画作品を中心に紹介。
西洋の近代美術	6/4～7/7 展示室4	フォーヴィスムの作家と、抽象へ向かった作家の作品。
群馬の美術	6/4～7/7 展示室4	湯浅一郎、福沢一郎、山口薰ほか。
群馬の美術	9/28～11/24 展示室4	横堀角次郎、南城一夫、鶴岡政男ほか。
エコール・ド・パリの作家たち	12/5～3/30 展示室2	ローランサン、バスキン、フジタらの作品を紹介。
日本の近代美術	12/5～3/30 展示室2	県出身作家を中心に、近代美術の秀作を展示。
群馬が生んだ日本画家たち	12/5～2/2 展示室3	小室翠雲、磯部草丘らの日本画。
着物と布	1/15～2/23 展示室3	志村ふくみの作品を中心に、着物と布の世界を紹介。
日本画に描かれた動物	2/25～3/30 展示室3	動物を魅力的に描いた日本絵画・中国絵画を展示。
【小企画】 コレクションにみる線の魅力	12/5～2/2 展示室4	古代から現代に至るまで、色や形とともに基本的な造形手段のひとつである線の魅力に注目し、展示。
現代の美術	2/5～3/30 展示室4	館林美術館所蔵の現代美術作品を紹介。
アルプとアルバース	2/5～3/2 展示室4	アルプとアルバースの版画作品。
マティスとピカソ	3/4～3/30 展示室4	マティスとピカソの版画作品を中心に展示。

## 1.ニルス=ウド展 自然へ

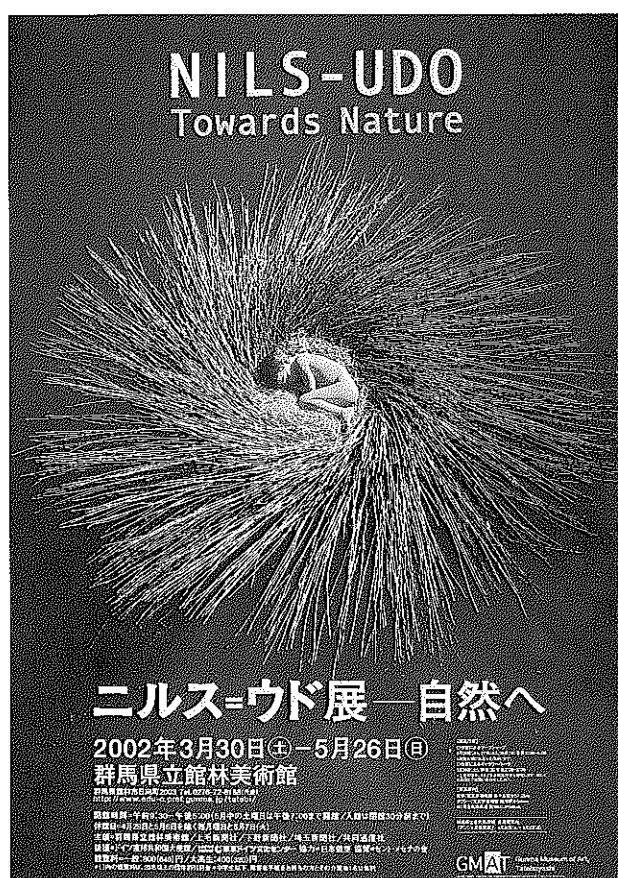
会期	平成14年3月30日(土)～5月26日(日)
会場	展示室2、3、4および美術館屋外スペース
主催	群馬県立館林美術館 上毛新聞社 下野新聞社 埼玉新聞社 共同通信社
後援	ドイツ大使館 東京ドイツ文化センター
協力	日本航空
協賛	セント・メセナの会
観覧料	一般：800(640)円 大高生：400(320)円 ( ) 内は20名以上の団体割引料金

自然のただなかに身を置き、光や風、水や花びらや葉に宿る本質的な美を引き出す造形をその場で行う現代美術作家ニルス=ウドは、1937年南ドイツのバイエルン地方に生まれた。1960年代にパリで画家としての活動を始めたが、当時のパリに先進的に現れた、美術学校、画廊、美術館に流通する商業主義的な既成の美術活動を疑問視する若い世代のアーティストの一人として、作家活動を見つめなおすために故郷に帰っている。1970年代から、南ドイツにて自然と向き合い、自然環境に対する深い理解に根ざして、その場所にある植物や木の枝を使ってインスタレーションを行い、自然の中に実在する美を結晶化する、彼独自の造形を生み出す活動を開始した。そして、活動の範囲をヨーロッパ各地、さらに日本を含む世界各地へと広げ、現在にいたっている。

その造形は時には風や水の動きによってわずかの間しか

存在せず、また時には植物を植える行為となって季節の変化を待ち受けるものとなる。作家はこれらの造形を、最終的に大きくプリントした写真によって作品として結晶させている。こうした作家活動によって、ドイツ・ロマン主義に通じる自然に対する深い省察の態度と、きわめて今日的な自然環境の保護に対する積極的な働きかけとが、一つに結びつき、独自の作品世界を形成している。自然環境の破壊が進み、人間が自然との新たな共生の関係を構築する必要に直面している21世紀に、ニルス=ウドの作品は静かに、しかし深く心に届く言葉で語りかけてくるのである。

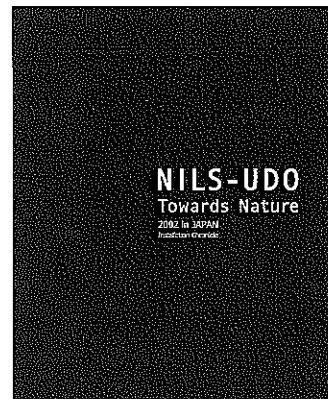
本展は、ドイツ、アーヘンのルートヴィヒ・フォーラムを皮切りに1999年からヨーロッパ各地を巡回した展覧会とともに、新たに構成したものである。ニルス=ウドの初期から最近作にいたる、133点の写真作品を、作品の主題に従って「自然へ」「森」「花」「冬」「水」「巣」「人」の7つの章に分けて展示構成し、野外彫刻プロジェクトや景観デザインの記録写真、資料、さらにビデオ上映も加えて日本で初めてこの作家の全貌を紹介した。また、作家が展覧会にあわせて来日し、館林に滞在して美術館前庭に立ち枯れていたけやきの木と、近隣から採集した柳の枝を用いて野外制作作品《すみか》を公開制作した。さらに作家による公開ワークショップや、ギャラリートークなどの関連事業を行い、熱心な参加者は、この作家の制作に対する深い理解を得た。



ポスター



図録



図録集

# 出品目録

No.	作品名／素材	制作年	技法	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	制作地
*技法注: GSP=ゼラチン・シルバー・プリント、IC=イルフォクローム、DSP=画布へのデジタル・スキャナー・プリント					
1	葦	1973	GSP	49.5×50.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
2	冬／トネリコの棒、トウヒの枝	1973	GSP	49.0×49.5	オーバーバイエルン地方、キームガウ
3	葦、石	1974	GSP	49.8×45.7	ギリシャ、エーゲ海
4	葦の塔	1974	GSP	60.0×45.4	ギリシャ、エーゲ海
5	ヴォルフスペルク、トウヒの植栽	1976	GSP	50.0×60.0	オーバーバイエルン地方、ヴォルフスペルク
6	3月の塔／トネリコの棒、葦、 クレマチス	1981	GSP	40.3×59.1	オーバーバイエルン地方、ブリーンタール渓谷
7	シダの筏／水に浮かぶ後の上のシダの 植栽、沼	1974	GSP	50.0×50.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
8	5月の筏／トネリコ、ハシバミの枝、 クレマチス、タンポポ	1980	GSP	117.0×123.2	オーバーバイエルン地方、キームガウ
9	風の筏／トネリコ、トウヒ、 クレマチス、石	1979	GSP	119.5×124.7	オーバーバイエルン地方、キームガウ
10	春分・秋分のための太陽の彫刻／ トネリコ、トウヒ、ナラ、柳の小枝	1979	GSP	126.0×125.0	シュヴァルツヴァルトの峰
11	パラダイスの庭で／トウヒの幹、石、 エニシダ	1979	GSP	100.5×100.5	ドイツ、パート・ミュンスター・アム・スタイルン＝エーベルンブルク市近郊
12	塔／トネリコの棒、トウヒの枝	1974	GSP	59.6×49.6	バイエルンの森
13	トネリコ、ハシバミの枝、柳の小枝、 雪玉	1981	GSP	49.5×49.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
14	雪の水／トネリコの枝、柳の小枝、 雪玉	1980	GSP	49.0×54.9	オーバーバイエルン地方、キームガウ
15	雨の塔／赤ナラの棒、トウヒの幹、 ハシバミの枝、クレマチス	1983	GSP	173.0×126.0	フライブルク、シュロスペルク
森					
16	フンガーヴィーゼ (痩せ地) ／ 白樺の植栽、夏-冬 (2点組)	1975	IC/GSP	40.7×48.8/38.2×48.8	オーバーバイエルン地方、キームガウ
17	グスタフ・マーラーに／ ボプラの植栽、夏-冬 (2点組)	1976	IC/IC	29.2×29.3/29.2×29.3	オーバーバイエルン地方、キームガウ
18	水の巣／葦、夏-冬 (2点組)	1976	IC/IC	51.0×65.1/51.0×65.1	オーバーバイエルン地方、キームガウ
19	柳の環／植栽	1979	IC	100.0×125.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
20	トウヒ、楓の葉	1978	IC	100.0×100.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
21	3月の祭壇	1981	IC	50.0×51.4	オーバーバイエルン地方、ブリーンタール渓谷
22	山の旗／楓の葉、ナナカマドの棒	1981	IC	100.0×86.5	オーストリア、ザルツブルク州、ラウリス
23	山の風／カラマツの棒、楓の葉	1981	IC	100.0×119.0	オーストリア、ザルツブルク州、ラウリス
24	大きな水の祭壇／トウヒの幹、柳の小 枝、樹木と芝の植栽、たいまつ	1982	IC	77.2×88.4	バイエルン地方、ボマースフェルデン城公園
25	枝に織り込んだシダの茎	1987	IC	100.0×120.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
26	野生のナシの木、苔、リンボクの実	1985	IC	100.0×100.0	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ
27	リンゴの木、リンゴ	1985	IC	100.0×100.0	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ
28	リンゴ	1985	IC	99.0×99.0	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ
29	桜の樹、柳の小枝、マロニエの葉	1985	IC	100.0×100.0	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ
30	マロニエの葉	1985	IC	100.0×126.0	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ
31	シダの葉	1986	IC	100.0×98.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
32	ナラの葉	1986	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
33	シダの蜘蛛／シダの葉	1986	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
34	池に浮かぶシダの葉	1990	IC	100.0×100.0	インド洋、レユニオン島
35	門／トネリコ、ハシバミ、柳、 ブナの枝	1980	IC	100.3×100.4	オーバーバイエルン地方、キームガウ
36	道／トウヒの幹、芝の植栽	1984	IC	100.0×100.0	オランダ、ハールレム
37	皮をはいだ柳の枝、ガマズミの汁で 染めて	1992	IC	100.0×116.0	バイエルン地方、ディーテンプロン
38	倒れたブナ／房状のニワトコの実	1986	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
39	菩提樹、ナナカマドの実	1999	IC	100.0×86.5	ドイツ、アーヘン
40	二股のナラの木、ニワトコの実	1992	IC	100.0×130.0	バイエルン地方、ディーテンプロン
41	苔で作った楓の葉の形／ 幹から拭い取った苔	1994	IC	100.0×100.0	パリ、サン＝ドニ、クールヌーヴ公園
42	ブナ、ナナカマドの実	1993	IC	100.0×100.0	デンマーク、ランゲラン島
43	根の彫刻	1995	IC	100.0×100.0	メキシコ・シティ、チャブルテベク公園
44	根の彫刻／楓	1996	IC	80.0×120.0	トロント、クリアランス・スクエア・パーク
45	池に浮かべたトウヒの針状の葉、 枝でかき混ぜる／ハシバミの枝の幹	1997	IC	119.5×80.0	オーバーバイエルン地方、ザーマーベルク

No.	作品名/素材	制作年	技法	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	制作地
*技法注: GSP=ゼラチン・シルバー・プリント、IC=イルフォクローム、DSP=画布へのデジタル・スキャナー・プリント					
46	秋の絵／ハシバミの枝で枠組みした楓の葉	1997	IC	100.0×100.0	オーバーバイエルン地方、ザーマーベルク
47	池を覗く／水面に柳の小枝	1994	IC	100.0×100.0	パリ、サン=ドニ、クールヌーヴ公園
<b>花</b>					
48	トネリコ、タンポポ	1995	IC	49.8×42.3	オーバーバイエルン地方、キームガウ
49	草、草の茎、ハマナスの花びら	1986	IC	100.0×112.2	北海、ジルト島
50	ハマナスの花びら、松葉	1986	IC	100.0×100.0	北海、ジルト島
51	ハマナスの花びら、松葉	1986	IC	100.0×100.0	北海、ジルト島
52	白樺の枝、シダの葉、松葉、ハマナスの花びら	1986	IC	100.0×100.0	北海、ジルト島
53	白樺の枝、シダの葉、ヘラオオバコの茎、松葉、ハマナスの花びら	1986	IC	99.0×99.0	北海、ジルト島
54	竹の棒、フクシアの花、草の茎	1990	IC	100.0×100.0	インド洋、レユニオン島
55	パホイホイ溶岩の割れ目、「炎の舌」と呼ばれる花の花びら	1990	IC	100.0×100.0	インド洋、レユニオン島
56	山の草地の残雪、タンポポ	1990	IC	100.0×100.0	オーストリア、ザルツブルク州、ヒンタータール
57	山の草地の残雪、雪割草	1990	IC	100.0×100.0	オーストリア、ザルツブルク州、ヒンタータール
58	ジギタリスの湿地／ジギタリスの花と房状のニワトコの実	1992	IC	57.0×220.0	バイエルン地方、ディーテンプロン
59	ピンク色の蛇／ジギタリスの花、柳	1994	IC	100.0×100.0	フランス、スカルプ＝エスコー地方自然公園、マルシェンヌの森
60	アルビニア	1991	IC	100.0×100.0	アンティル諸島、マルティニック島
61	インドの寺院	1994	IC	60.0×40.0	インド、ニュー・デリー
62	インドの寺院	1994	IC	60.0×40.0	インド、ニュー・デリー
63	インドの寺院	1994	IC	60.0×40.0	インド、ニュー・デリー
64	インドの寺院	1994	IC	59.0×39.0	インド、ニュー・デリー
65	壁龕／マロニエの花	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ディーテンプロン
66	岩／石で鍾をつけたマリーゴールドの花綱	1994	IC	100.0×130.0	インド、ニュー・デリー
<b>冬</b>					
67	雪の白樺	1980	IC	100.0×100.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
68	雪の灯火	1981	IC	100.2×118.4	オーバーバイエルン地方、キームガウ
69	氷、ペイマツの小枝	1987	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
70	水面の亀裂、ペイマツの小枝	1987	IC	100.1×99.9	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
71	水面、シダの葉	1987	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
72	リンゴの木、浮氷	1987	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
73	緑の雪、野生のニンニクの葉の汁で染めて	1992	IC	100.0×100.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
74	赤い雪、ガマズミの汁で染めて	1992	IC	100.0×100.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
75	雪解けとあらわになつたトネリコの幹の苔	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ディーテンプロン
<b>水</b>					
76	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×132.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
77	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×132.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
78	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×132.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
79	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×132.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
80	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×132.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
81	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×132.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
82	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×132.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
83	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	1982	GSP	125.0×140.0	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟
84	5月の後／トネリコ、ハシバミの枝、クレマチス、タンポポ	1980	IC	54.5×69.8	オーバーバイエルン地方、キームガウ
85	5月の後／トネリコ、ハシバミの枝、クレマチス、タンポポ	1980	IC	54.5×78.0	オーバーバイエルン地方、キームガウ
86	5月の後／トネリコ、ハシバミの枝、クレマチス、タンポポ	1980	IC	54.5×69.8	オーバーバイエルン地方、キームガウ
87	栗の葉、釣鐘草の花	1986	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖

No.	作品名／素材	制作年	技法	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	制作地
* 技法注: GSP=ゼラチン・シルバー・プリント、IC=イルフォクローム、DSP=画布へのデジタル・スキャナー・プリント					
88	栗の葉、ホザキシモツケの花	1986	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
89	川床、ハマヒルガオの花	1990	IC	76.1×100.2	インド洋、レユニオン島
90	川床、ハマヒルガオの花	1990	IC	76.3×100.3	インド洋、レユニオン島
91	川床、ハマヒルガオの花	1990	IC	76.2×100.3	インド洋、レユニオン島
92	ロードデンドロンの葉、松葉	1987	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
93	ロードデンドロンの葉、苔	1987	IC	100.0×100.0	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖
94	切り取ったアヤメの葉、楓の実	1991	IC	100.0×100.0	ニューヨーク、セントラル・パーク
95	ハリエンジュの葉のぶらんこ	1992	IC	100.2×100.1	イタリア、ヴァレ・ディ・セラ
96	溶岩の川床、ジギタリスの花	1990	IC	100.0×100.0	インド洋、レユニオン島
97	竹管の環	1990	IC	100.0×100.0	インド洋、レユニオン島
98	1000の水仙／浮島に植えた1000の水仙	1994	IC	100.0×100.0	バルト海、リューゲン島
99	1000の水仙／浮島に植えた1000の水仙	1994	IC	100.0×100.0	バルト海、リューゲン島
100	1000の水仙／浮島に植えた1000の水仙	1994	IC	100.0×100.0	バルト海、リューゲン島
101	1000の水仙／浮島に植えた1000の水仙	1994	IC	100.0×100.0	バルト海、リューゲン島
102	ナナカマドの実の小川／ハシバミの枝	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ドーナウリート地域
103	ナナカマドの実の小川／ハシバミの枝	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ドーナウリート地域
104	種をとったヒマワリにガマズミの実、ニシキギのさや、ニシキギの実を詰めて川に浮かべる	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ドーナウリート地域
105	水面に散る黄色い花	1990	IC	100.0×100.0	フランス、ウェサン島
106	水面に散る黄色い花	1990	IC	50.0×50.0	フランス、ウェサン島
107	水面に散る黄色い花	1990	IC	50.0×50.0	フランス、ウェサン島
108	水面に散る黄色い花	1990	IC	50.0×50.0	フランス、ウェサン島
109	バラカン・デル・インフィエルノ (地獄の渓谷)	2000	IC	100.0×100.0	カナリア諸島、テネリフェ島
110	小さな湖／土、水、ハシバミの枝、森のヒヤシンス、枯れ葉	1999	IC	100.0×100.0	フランス、ヴァルリー
111	土、水、ナナカマドの実、柳の小枝、草、セイヨウイボタノキの実	1990	IC	100.0×100.0	ドイツ、アーヘン
112	土、水、ナナカマドの実、柳の小枝、草、セイヨウイボタノキの実、ハリエンジュの葉	1999	IC	100.0×100.0	ドイツ、アーヘン
113	鏡／土、水、ナナカマドの実、柳の小枝、草	1999	IC	124.0×100.0	ドイツ、アーヘン
114	ハシバミの枝、アジサイの花びら	2000	IC	92.3×250.5	フランス、マルスローの森
<b>巢</b>					
115	巣／土、石、白樺、草	1978	DSP	312.5×311.5	ドイツ、リューネブルガー・ハイデ
116	巣／土、石、白樺、草	1978	GSP	124.7×124.7	ドイツ、リューネブルガー・ハイデ
117	ラヴェンダーの巣／土、石、ナラ	1988	DSP	311.0×310.5	プロヴァンス地方、ヴェゾン＝ラ＝ローメーヌ近郊、クレスティ
118	ラヴェンダーの巣／土、石、ナラ、ラヴェンダーの植栽	1988	IC	120.0×120.0	プロヴァンス地方、ヴェゾン＝ラ＝ローメーヌ近郊、クレスティ
119	竹の巣／竹の棒、竹の植栽	1988	IC	120.0×120.0	神奈川県藤野町
120	竹の巣 II／竹の棒、竹の植栽	1988/94	IC	100.0×100.0	神奈川県藤野町
121	巣／土、トウヒの新芽	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ディーテンブロン
122	鳥の巣／ガマズミの汁で染めた卵型の氷	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ディーテンブロン
123	雪の巣／雪、柳の小枝、ガマズミの汁で染めた氷の塊	1993	IC	100.0×100.0	バイエルン地方、ディーテンブロン
124	子ども、刈り込んだ柳の木、干し草、シダの葉、泥	1994	IC	100.0×149.9	フランス、スカルプ=エスコー地方自然公園、マルシェンヌの森
125	レッド・ロックの巣／竹の棒、土、オレンジ、レモン、ライム	1998	IC	100.0×100.0	カリフォルニア、レッド・ロック・キャニオン
126	水の巣／枝、柳の小枝、干し草	1995	IC	308.5×308.5	イギリス、ボックス、リアル・ワールド・スタジオ
127	水の巣／枝、柳の小枝、干し草	1995	DSP	100.0×122.0	イギリス、ボックス、リアル・ワールド・スタジオ
<b>人</b>					
128	子ども、刈り込んだ柳の木、シダの葉、濡れたハリエンジュの葉	1994	IC	100.0×122.0	フランス、スカルプ=エスコー地方自然公園、マルシェンヌの森
129	子ども、シダ、濡れたケシの花びら	1994	IC	100.0×133.2	フランス、スカルプ=エスコー地方自然公園、レームの森
130	子ども、泥、アオウキクサ、ハリエンジュの葉、シダの葉	1994	IC	100.0×122.5	フランス、スカルプ=エスコー地方自然公園、マルシェンヌの森

No.	作品名／素材	制作年	技法	寸法 (横き×高さ×奥行cm)	制作地
-----	--------	-----	----	--------------------	-----

\*技法注: GSP=ゼラチン・シルバー・プリント、IC=イルフォクローム、DSP=画布へのデジタル・スキャナー・プリント

- 131 蛙／子ども、トウヒの幹で作った後、古い木の葉、アオウキクサ、シダの葉 1994 IC 69.0×77.0 フランス、スカルプ=エスコー地方自然公園、マルシェンヌの森  
132 蛙／子ども、トウヒの幹で作った後、古い木の葉、アオウキクサ、シダの葉 1994 IC 69.5×100.1 フランス、スカルプ=エスコー地方自然公園、マルシェンヌの森  
133 子ども、シダの葉、菩提樹の葉 1995 IC 100.3×150.3 フランス、スカルプ=エスコー地方自然公園、マルシェンヌの森

#### 資料

- 資料1 青い花／ハインリヒ・フォン・オフター・ディンゲンのための風景一門に続く路と春分・秋分のためのバイエルンの太陽の影刻 1995/96 IC 66.5×100.0 シュヴァイスフルス財団、ヘルマンスドルフ景観プロジェクト、ミュンヘン近郊、グロン  
資料2 青い花／ハインリヒ・フォン・オフター・ディンゲンのための風景一門に続く路と春分・秋分のためのバイエルンの太陽の影刻（内側から入口部分を見る） 1995/96 IC 66.5×100.0 シュヴァイスフルス財団、ヘルマンスドルフ景観プロジェクト、ミュンヘン近郊、グロン

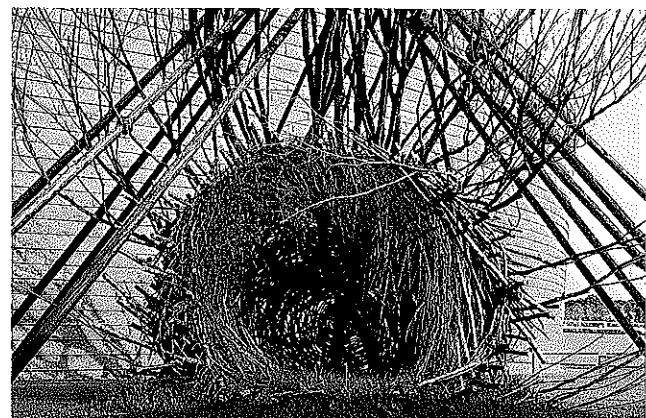
#### 屋外展示

すみか

制作期間：2002年3月22日－29日

素材：群馬県立館林美術館前の公園緑地内の枯れたケヤキの木 近藤沼付近街路樹のヤナギの枝・小枝

寸法：全長11.5m、全高5.5m、巣の外寸 縦2.19m／横3.45m



#### ◎印刷物・会場作成物

- 図録 B5変形 (22.0×18.0cm) 224頁

内容：主催者挨拶

- 自然に向かって（ニルス＝ウド）
- 自然の現前（ヴォルフガング・ベッカー）
- カタログ
- バイエルンの森、縄文の森（佐々木一成）
- 青い花—作家との対話（松下由里）
- 略年譜

#### 主要文献目録

#### 作品リスト

（以上全て和英併記）

編集：群馬県立館林美術館

北海道立帯広美術館

岩手県立美術館

共同通信社

デザイン：笠原香苗

制作：コギト

発行：共同通信社

- 記録集『ニルス＝ウド—自然へ インスタレーションの記録』

- B5変形 (21.4×17.2cm) 28頁

内容：《すみか》群馬県立館林美術館

《歩く、飛ぶ》北海道立帯広美術館

《モリオカ・スパイダー》岩手県立美術館

編集：群馬県立館林美術館

北海道立帯広美術館

岩手県立美術館

共同通信社

デザイン：笠原香苗

制作：コギト

発行：岩手県立美術館

群馬県立館林美術館

北海道立帯広美術館

共同通信社

- ・ジュニアガイド A3、4つ折り

- ・ポスター B2

- ・ちらし A4

- ・パネル

- 挨拶パネル2枚（館長挨拶和文、英文）  
 セクション題名パネル7枚  
 《すみか》解説パネル1枚  
 作家略歴パネル2枚（和文、英文）  
 作家の言葉パネル2枚（和文、英文）  
 •会場配布用作品リスト  
 •作品制作地地図  
 •ビデオ上映「ニルス=ウド 時の影刻 アポカリプス」  
 （43分 企画・制作 インタービューション 1987年）
- ◎主要関連記事
- [新聞記事等]
- 上毛新聞
- 2.11 「作家の公開制作お手伝い ボランティア募集」  
 3.3 「ニルス=ウド展 自然へ 作家による公開制作ワークショップ参加者募集」〈県政だより〉  
 3.4 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 3.4 「人間は自然の一部」  
 3.8、3.22、3.29、4.12、5.3、5.17  
 「ニルス=ウド展 自然へ」〈気になる情報 ばれっと〉  
 3.13 「自然素材で作品づくり ワークショップ開催」  
 3.21 「ニルス=ウド展 自然へ 作家による公開制作ワークショップ参加者募集」〈県政だより〉  
 3.22 「ワークショップ 展示室観察日記 ～かたちをさがせ！～」〈県政だより〉  
 3.30 「初期から新作 ウド作品130点」  
 3.31 「ウド氏の作品130点を紹介」  
 4.2 「巨大な“鳥の巣”誕生」〈プリズム21〉  
 4.3、4.20、5.11  
 「ニルス=ウド展 自然へ」〈ゆうまちゃんの掲示板〉  
 4.11、5.3  
 「ニルス=ウド展 自然へ 作品解説会・子どもギャラリートーク」〈ゆうまちゃんの掲示板〉  
 4.16 「ワークショップ ニルス=ウドさんになろう！写真でたのしむ自然のかたち」〈ゆうまちゃんの掲示板〉  
 5.13 佐々木一成「ニルス=ウド展に思う 自然の生命力を体感」  
 •上毛シャトル  
 3.22、4.16、4.19、5.13、5.20、5.24  
 「ニルス=ウド展 自然へ」〈出かけてみませんか情報BOX〉  
 3.24、4.7  
 「ニルス=ウド展 自然へ」〈museum〉  
 4.29、5.3、5.6、5.10  
 「ニルス=ウドさんになろう！写真で楽しむ自然のかたち」〈出かけてみませんか情報BOX〉  
 •朝日新聞  
 4.4 「自然生かした作品がずらり」  
 4.20 「ニルス=ウド展 自然へ」〈沿線美術館情報〉  
 •朝日ぐんま
- 4.19 「巨大な鳥の巣一緒に作った 作家、美術館に親近感」  
 •群馬よみうり  
 4.4 「自然素材を使った造形作品の写真130点など」  
 4.6 「美術作品制作に協力」  
 •産経新聞  
 4.4、4.18、5.9、5.23  
 「ニルス=ウド展 自然へ」〈アートカレンダー〉  
 4.18 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 •毎日新聞  
 4.3 「自然の造形美表現」〈見る聞く遊ぶ群馬〉  
 •東京新聞  
 4.17 「ニルス=ウド展」〈ウイークリーぐんま〉  
 •下野新聞  
 4.4 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 4.14 「自然の中の美鮮やかに」  
 •南日本新聞  
 5.16 水沢勉「ニルス=ウド展に寄せて」
- [定期刊行物]
- 月刊ギャラリー
- 5月 〈展覧会スポット〉  
 •アレツツ  
 5月 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 •グラフぐんま  
 4.10 松下由里 〈ギャラリー〉「水の巣」  
 •からつ風  
 3.4、5.6月号 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 •上毛でりじえい  
 5月 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 •すたんびーど  
 5月 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 •みにむ  
 5月 「ニルス=ウド展 自然へ」  
 •足利漫我人  
 4月、5月  
 県立館林美術館情報  
 •館林ふるさとマガジン  
 5.15 館林市長 中島勝敬「ニルス=ウド展を鑑賞して」
- ◎放送
- 群馬テレビ
- 4.5 〈県政ガイド出演版〉  
 •NHK教育テレビ  
 4.14 〈新日曜美術館(アートシーン)〉  
 •FMぐんま  
 4.8 〈ぐんま情報トッピング〉  
 4.8 〈FM県政ガイド〉  
 •FM TARO  
 3.26 (4.2再) 〈ぐんまいきいき情報〉  
 4月 〈スポットCM〉

## 2. 親子のための美術展 素材との対話シリーズその1 「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」

会期 平成14年7月20日(土)～9月16日(月)

会場 展示室1、2、3、4

主催 群馬県立館林美術館

観覧料 一般400(320)円、大高生200(160)円

( )内は20名以上の団体割引料金

紙は古来、情報の伝達や蓄積に大きく貢献してきた「素材」である。今や全世界で大量に消費されている紙は、美術作品においても絵画の支持体として、また造形の素材そのものとして使用されている。本展は、紙が情報伝達の手段として活用されてきた背景と、造形芸術において作家がその特性をどのように活かしてきたかをさぐるとともに、紙を主な素材として制作する現代の作家たちの作品も併せて紹介し、紙のもつ豊かな表現力を味わう機会とした。その構成は以下のとおりである。

「I. 紙とひととのかかわり」では、紙にはどんな種類があるのか、歴史のなかでどのように使われてきたのかを、甲骨、パピルス、絵巻物、ポスターなどの資料・作品をもとに簡単に紹介した。

「II. 紙の上のかたち」では、紙の特性をよく知ることのできる平面作品を展示した。特に「1 にじむ色、はしる

線」では書や水彩などを、「2 かたちを写す紙」では錦絵やリトグラフなどの版画を、「3 さまざまな紙、いろいろなかたち」では紙の特性を活かす新しい手法を用いた現代作家の作品により、支持体としての紙がつくる豊かな表現に迫ることを目指した。

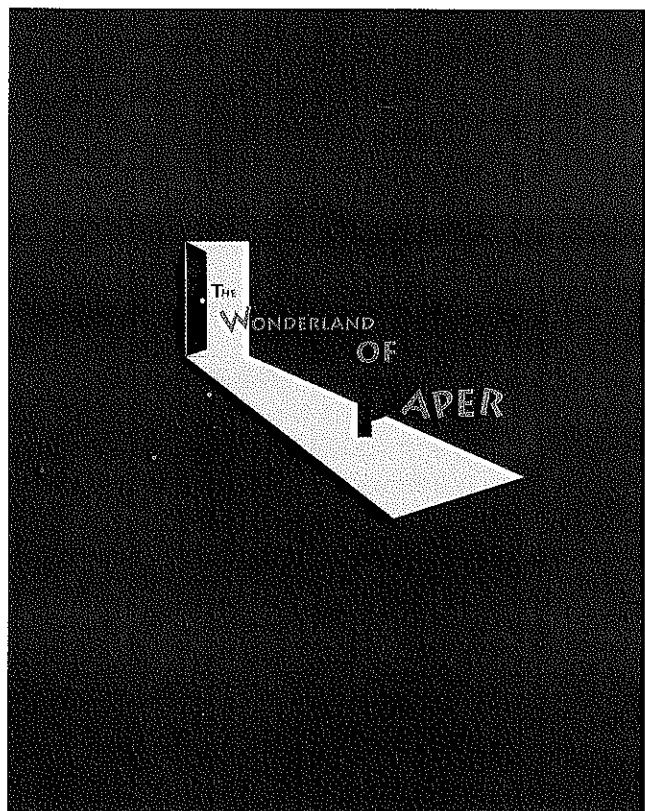
「III 紙の大変身」では、紙の特性を活かした創作活動をおこなっている現代作家の中から樅尾正次、小林尚美、西村陽平、北山善夫、柳井嗣雄、半谷学の6人を選び、彼らの作品（インスタレーションを含む）にみられる紙の堅さ、柔らかさ、透明感、荒々しさなど多彩な造形表現を紹介した。

また、「紙のできるまで（和紙／パネル展示）」や「紙のいろいろ（見本展示）」、「紙とわたしたちのくらし（玩具などの生活用品の資料展示）」などにより、紙についてより詳しく知ることができる「紙のいろいろコーナー」を設置した。

以上の展示のうち、樅尾正次・北山善夫両氏の展示作業は「公開制作」として来館者が見学できるようにした。また公開制作中あるいは展示期間中に学校の授業との連携をおこなうなど、普及プログラムの新しい試みに取り組むことができた。



ポスター



図録

# 出品目録

No.作者名	作品・資料名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
<b>I 紙とひととのかかわり</b>					
1	甲骨	紀元前1500頃		7.0×4.0	財団法人 紙の博物館
2	本簡（複製）	紀元前2世紀頃		57.0×14.2	財団法人 紙の博物館
3	パピルス	1982頃		15.5×18.2	財団法人 紙の博物館
4	ペーチメントの楽譜	17世紀頃	肉筆着彩	50.2×39.0	財団法人 紙の博物館
5	紙漉重宝記（復刻）	原資料：1798		23.0×16.0	財団法人 紙の博物館
6	大福帳（藤岡市中大塚）	1922		30.0×16.5×23.5	群馬県立歴史博物館
7	大坂安部之合戦	1615	木版・楮紙	39.0×27.0	財団法人 紙の博物館
8	長州屋敷出火警謹救出之図	1864	木版・楮紙	36.0×50.0	財団法人 紙の博物館
9	畠田漢仙 「越前紙漉之巻」絵巻（上下2巻）	1931	紙本淡彩、巻子	44.5×358.0/ 44.5×320.0	財団法人 紙の博物館
10	アンリ＝ド＝トゥールーズ・ロートレック ジャルダン・ド・パリのジャヌ・アヴリル	1893	リトグラフ・紙	128.5×94.0	川崎市市民ミュージアム
11	ピエール・ボナール フランス・シャンパン	1891	リトグラフ・紙	78.7×59.3	川崎市市民ミュージアム
12	引札	明治時代	木版・紙	36.8×25.0	群馬県立歴史博物館
13	引札	明治時代	木版・紙	35.6×23.8	群馬県立歴史博物館
14	引札	明治時代	リトグラフ・紙	26.0×36.8	群馬県立歴史博物館
15	引札	明治時代	リトグラフ・紙	25.0×37.6	群馬県立歴史博物館
<b>II 紙のうえのかたち</b>					
1.にじむ色、はしる線					
16	小杉放菴 桜下人	1935	紙本彩色、二曲一隻屏風	149.5×164.0	栃木県立美術館
17	小杉放菴 虎渢三笑	1951頃	紙本彩色、軸装	54.5×58.0	栃木県立美術館
18	小杉放菴 奥の細道-立石寺	1955頃	紙本彩色、軸装	51.0×47.0	栃木県立美術館
19	川崎小虎 うどんげの花を植える女	1912-16頃	紙本着色（厚紙）、額装	80.0×51.0	岐阜県美術館
20	川崎小虎 箫箇を弾く	1965頃	紙本着色、額装	68.0×41.5	岐阜県美術館
21	四方田草炎 牡丹	昭和時代	墨、鉛筆、紙、額装	132.3×123.8	群馬県立近代美術館
22	四方田草炎 野猿	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩、紙、額装	70.2×55.3	群馬県立近代美術館
23	湯浅一郎 アルカサルの庭	1906-07	水彩、紙	30.2×43.3	個人蔵
24	湯浅一郎 パリの公園	1907-09	水彩、コンテ、紙	22.0×29.0	個人蔵
25	パウル・クレー 子供たち	1929	水彩、木炭、紙	27.5×33.5	群馬県立館林美術館
26	小山田二郎 鳥	1957	水彩、紙	25.5×34.5	文京アート
27	小山田二郎 虫に扮した子供達	1976	水彩、紙	51.6×36.7	文京アート
28	人澤雅休 大法無法	1953	紙本墨書き 二曲一隻屏風	70.0×140.0	群馬県立近代美術館
29	大澤雅休 雷蔵	1953	紙本墨書き 額装	70.0×140.0	群馬県立近代美術館
30	郭仁植 Work86-JM	1986	彩墨、和紙、二曲一双屏風	190.0×200.0	財団法人 セゾン現代美術館
31	サム・フランス 無題 WC0011	1963	グワッシュ・紙	210.0×90.0	財団法人 セゾン現代美術館
2.かたちをうつす紙					
32	葛飾北斎 馬尽 脊菖蒲	1822	木版・紙（色紙判摺物）	20.7×18.0	千葉市美術館
33	葛飾北斎 馬尽 脊鳥	1822	木版・紙（色紙判摺物）	20.7×18.0	千葉市美術館
34	葛飾北斎 雅遊拳三番続之内 紙	1823	木版・紙（色紙判摺物）	21.6×18.1	千葉市美術館
35	歌川広重（初代） 東海道五十三次之内 四日市 三重川	1833頃	木版・紙（横大判錦絵）	25.4×37.0	神奈川県立歴史博物館
36	歌川広重（初代） 東海道五十三次之内 浜松 冬枯ノ図	1833頃	木版・紙（横大判錦絵）	25.2×37.9	神奈川県立歴史博物館
37	歌川広重（初代） 東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	1833頃	木版・紙（横大判錦絵）	25.6×37.9	神奈川県立歴史博物館
38	ジョアン・ミロ 左へ	1968	エッティング、アクアチント、 カーボランダム・紙	62.0×101.2	群馬県立近代美術館
39	ジョアン・ミロ サラセン人と青い星	1973	エッティング、アクアチント、 カーボランダム・紙	137.0×59.0	群馬県立近代美術館
40	マックス・エルンスト 『魔法の角笛』より《No.4》	1969	リトグラフ・紙	27.8×20.3	群馬県立館林美術館
41	マックス・エルンスト 『魔法の角笛』より《No.20》	1969	リトグラフ・紙	22.3×20.3	群馬県立館林美術館
42	アンリ・マティス 『ジャズ』より《馬、女曲馬師、道化師》	1947	ステンシル・紙	42.5×65.4	群馬県立近代美術館
43	アンリ・マティス 『ジャズ』より《コドマ兄弟》	1947	ステンシル・紙	42.0×64.5	群馬県立近代美術館
44	フランソワ・ラフランカ カマナ	1993	エンボス、石片・紙	102.0×75.0	群馬県立館林美術館
45	フランソワ・ラフランカ コルソット	1993	エンボス、石片・紙	22.0×20.0	群馬県立館林美術館
46	フランソワ・ラフランカ アトランティード	1994	エンボス、石片・紙	40.0×45.0	群馬県立館林美術館
47	フランソワ・ラフランカ クアドレッラ	1994	エンボス、石片・紙	40.0×45.0	群馬県立館林美術館
48	フランソワ・ラフランカ Y.L.	1995	エンボス・紙	20.0×22.0	群馬県立館林美術館

No.作者名	作品・資料名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
49 フランソワ・ラフランカ	コルバズ	1995	エンボス、木片、紙	68.0×54.0	群馬県立館林美術館
50 フランク・ステラ	オリカ (III) (ペーパー・レリーフ・プロジェクトより)	1975	ペーパー・パルプ・レリーフ、 カラージュ、手彩色、白色のH M P、手彩色、着色されたHM P (手漉き紙)	66.0×54.6	CCGA 現代グラフィック アートセンター
51 フランク・ステラ	オリカ (III) (ペーパー・レリーフ・プロジェクトより)	1975	ペーパー・パルプ・レリーフ、 カラージュ、手彩色、白色のH M P、手彩色、着色されたHM P (手漉き紙)	66.0×54.6	CCGA 現代グラフィック アートセンター
52 フランク・ステラ	ノウエ・ミアストロ (IV) (ペーパー・レリーフ・プロジェクトより)	1975	ペーパー・パルプ・レリーフ、 カラージュ、手彩色、白色のH M P、手彩色、着色されたHM P (手漉き紙)	66.0×54.6	CCGA 現代グラフィック アートセンター
53 フランク・ステラ	ノウエ・ミアストロ (IV) (ペーパー・レリーフ・プロジェクトより)	1975	ペーパー・パルプ・レリーフ、 カラージュ、手彩色、白色のH M P、手彩色、着色されたHM P (手漉き紙)	66.0×54.6	CCGA 現代グラフィック アートセンター
3.さまざまな紙、いろいろなかたち					
54 ディヴィッド・ホックニー	影のあるステップC、ペーパー・プール2	1978	カラード・プレスト・ペー バー・パルプ、手彩色された白 色のT G L (手漉き紙)	128.3×85.1	CCGA 現代グラフィック アートセンター
55 ディヴィッド・ホックニー	飛び込み板と影のある縁のプールB, ペーパー・プール3	1978	カラード・プレスト・ペー バー・パルプ、手彩色された白 色のT G L (手漉き紙)	127.6×82.6	CCGA 現代グラフィック アートセンター
56 アンソニー・カロ	ペーパー・スカルプチュア No.53	1981	手彩色を施された1点制作の紙 の彫刻、手漉き紙、タイコア (R)	66.7×80.0	CCGA 現代グラフィック アートセンター
57 アンソニー・カロ	ペーパー・スカルプチュア No.56	1981	手彩色を施された1点制作の紙 の彫刻、手漉き紙、木箱	81.3×56.5	CCGA 現代グラフィック アートセンター
58 アンソニー・カロ	ペーパー・スカルプチュア No.65	1981	手彩色を施された1点制作の紙 の彫刻、手漉き紙、タイコア (R)	45.7×83.8	CCGA 現代グラフィック アートセンター
59 アラン・シールズ	ボックス・スウィート・ジェーンの卵、 3点組：I、ムース・セット	1978	リトグラフ、スクリーンプリント、 スタンピング、クリーム色 とグレイ色の2層のH M P (手 漉き紙)	53.3×116.8	CCGA 現代グラフィック アートセンター
60 アラン・シールズ	ボックス・スウィート・ジェーンの卵、 3点組：II、ルーズヴェルト・セット	1978	リトグラフ、スクリーンプリント、 スタンピング、クリーム色 とグレイ色の2層のH M P (手 漉き紙)	48.3×57.2×47.0	CCGA 現代グラフィック アートセンター
61 アラン・シールズ	ボックス・スウィート・ジェーンの卵、 3点組：III、クール・セット	1978	リトグラフ、スクリーンプリント、 スタンピング、クリーム色 とグレイ色の2層のH M P (手 漉き紙)	63.5×62.9×8.5	CCGA 現代グラフィック アートセンター
62 アラン・シールズ	レイン・ダンス・ルート (世界一周貧乏旅行シリーズより)	1985	レリーフ、木版、縫い取り、コ ラージュ、上層：白色の格子上 のT G L (手漉き紙)、下層： 白色のT G L (手漉き紙)	119.4×119.4	CCGA 現代グラフィック アートセンター
63 アラン・シールズ	フェルディナンド伯父さんのルート (世界一周貧乏旅行シリーズより)	1985	レリーフ、スクリーンプリント、 木版、コラージュ、上層・ 中層：白色の格子状のT G L (手漉き紙)、下層：白色のま す口状のエンボスを施されたT G L (手漉き紙)	119.4×119.4	CCGA 現代グラフィック アートセンター
64 日比野克彦	HOUSE	1983	色鉛筆、アクリル・ダンボール 紙	162.0×97.0	
65 日比野克彦	BASS	1984	刷糸、色鉛筆、アクリル・ダン ボール紙	143.0×58.0×35.0	
66 日比野克彦	KEYBOARD	1984	色鉛筆、アクリル・ダンボール 紙	79.0×58.0×27.0	
67 吉永治	6st-10AV	1985	顔料、パステル・和紙 (越前奉 書紙)	280.0×380.0	
III 紙の大変身					
68 橋尾正次	紙の塔	2001	和紙、鉄線	350.0×155.0×160.0	
69 橋尾正次	音の出るオブジェ (6点)	2000-02	和紙、鉄線ほか		
70 橋尾正次	組む 2002	2002	和紙、鉄線、輪滑、油煙墨、薔 薇糊ほか		

No.著者名	作品・資料名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
71 小林尚美	Composition "Ito-Kukan 3"	1999	こより糸、和紙	240.0×75.0×20.0	
72 小林尚美	MA 2000	2000	雁皮紙、こより糸	15.0×20.0×200.0	
73 小林尚美	MA 2001	2001	雁皮紙、こより糸	15.0×360.0×360.0	
74 小林尚美	WORK 98#105	1998	こより糸、錦糸、墨、和紙	110.0×370.0×30.0	
75 小林尚美	DISTANCE	2001	こより糸、錦糸、墨	31.0×198.0×2.0	
76 小林尚美	DISTANCE #111	2001	こより糸、錦糸、墨	63.0×31.0×2.0	
77 小林尚美	kaku 2001 #104	2000	こより、こより糸、墨	45.0×36.0×5.0	
78 小林尚美	kaku 2001 #105	2001	こより、こより糸、墨	45.0×36.0×5.0	
79 西村陽平	時間と記憶	1996	ガラスケース、ガラス瓶、本、雑誌	193.0×60.0×55.0	滋賀県立近代美術館
80 西村陽平	焼却した書籍(15点)	2002	本、雑誌		
81 北山善夫	呆れ果てるばかりである	1991	竹、革、アクリル絵具、和紙	450.0×1000.0×300.0	
82 北山善夫	もともと	1983	竹、木、革、紙	110.0×140.0×188.0	
83 北山善夫	心躍る出来事でした。	1990-92	竹、アクリル絵具、紙	110.0×105.0×165.0	
84 北山善夫	それぞれの体験が	1991-94	竹、革、鉛、和紙	52.0×51.0×60.0	
85 北山善夫	視野は拡大されて	1998	インク・鳥の子紙	213.5×153.0	
86 北山善夫	絵画	2000	インク・鳥の子紙	211.0×278.0	
87 北山善夫	歴史は死者がつくった。	2001	インク・鳥の子紙	211.0×273.0	
88 北山善夫	死亡記事(歴史画)(組作品)	1982-2002	両用紙、ケント紙に新聞紙貼り 付け、ドローイング用紙	35.0×25.0	
89 柳井嗣雄	Henge 1987	1987	麻、鐵錆	200.0×1000.0	
90 柳井嗣雄	朽ちた大樹II	2002	麻、楮、パルプ、染料	140.0×500.0×500.0	
91 半谷学	何処に月は降りたのですか?	2001	海藻紙、原麻	300.0×600.0×100.0	
92 半谷学	きのう流れていた石が止まる(4点組)	2002	海藻紙、原麻、照明器具		
紙のいろいろコーナー					
93 岡村吉右衛門	型染絵「現代日本紙漁場地図」和文版 (2点組)	1959	和紙	各51.0×64.0	財団法人 紙の博物館
94	津島團扇	1861-64頃	和紙、竹	39.0×23.0	財団法人 紙の博物館
95	津島團扇	1861-64頃	和紙、竹	39.0×23.0	財団法人 紙の博物館
96	江戸唐紙形	1848	唐紙	14.0×22.5	財団法人 紙の博物館
97	模紙見本帖	昭和初期	彩色、箔・紙	36.2×47.0	財団法人 紙の博物館
98	大神宮の幣束(山田郡大間々町小平)	昭和時代	竹、紙	28.0×27.3	群馬県立歴史博物館
99	恵比須様の幣束(山田郡大間々町小平)	昭和時代	竹、紙	31.0×28.0	群馬県立歴史博物館
100	はた神様の幣束(山田郡大間々町小平)	昭和時代	竹、紙	28.0×28.5	群馬県立歴史博物館
101	縁起だるま(高崎市八幡町)	昭和時代	紙	30.0×28.0×25.5	群馬県立歴史博物館
102	世界戦争十六むさし	大正時代	紙	54.0×78.6	群馬県立歴史博物館
103	市川得庵橋本百人一首	江戸時代	彩色、紙	各10.3×6.9	群馬県立歴史博物館

## ◎印刷物・会場作成物

- ・図録 B5変形(21.5×17.3)64頁

内容：

館長あいさつ

はじめに

カタログ（章解説：伊藤佳之、神尾玲子／作品解説：

群馬県立館林美術館学芸員）

作家略歴（群馬県立館林美術館学芸員）

出品作品リスト

編集：群馬県立館林美術館

デザイン：笠原香苗

制作：コギト

発行：群馬県立館林美術館

- ・ジュニアガイド A3、4つ折

- ・ポスター B2

- ・ちらし A4

- ・パネル

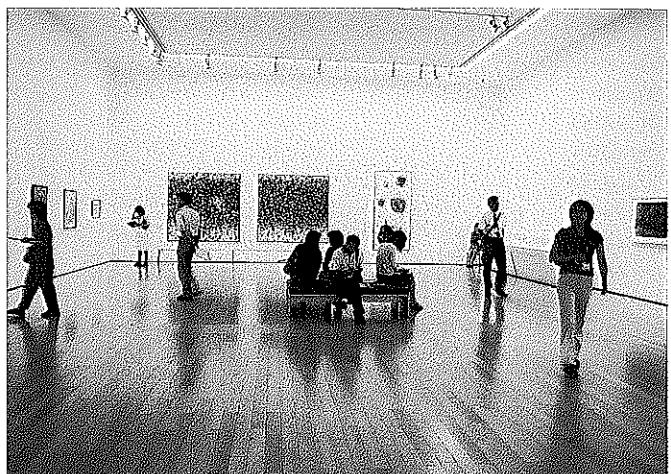
挨拶パネル2枚（館長挨拶和文、英文）

コーナーパネル5枚（I、II、III×2、紙のいろいろコーナー）

小コーナーパネル5枚（I-1、I-2、II-1、II-2、II-3）

地図・写真パネル6枚

- ・会場配布用作品リスト



## ◎主要関連記事

〔新聞等〕

- ・上毛新聞

7.11 「みんなのアトリエ」 ポランティアスタッフ募集

7.13、7.31、8.3、8.8

「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈ゆうまちやんの掲示板〉

7.19 「オブジェづくりに挑戦 館林八小 現代美術作家が指導」

7.20 「紙の持ち味生かす100点 館林美術館 きょうから企画展」

7.23 小林聰「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈プリズム21〉

7.26、8.9

「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈気になる情報 ぱれっと〉

9.1 「創作体験コーナー みんなのアトリエ」〈ゆうまちやんの掲示板〉

9.2 「不思議いっぱい 紙のワンダーランド作品解説会」〈ゆうまちゃんの掲示板〉

- ・上毛シャトル

7.16、7.19、7.22、7.29、8.9、8.13、8.16、8.19、8.23、8.26、8.30、9.6、9.10、9.13、9.16

「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈出かけてみませんか情報BOX〉

7.22 「紙はどう使われた？ 100点で多角的に紹介」

- ・朝日新聞

7.27、8.8、8.24、9.7

「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈ぐんまマリオン沿線美術館情報〉

8.17 「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈夏休み芸能・アート特集〉

- ・朝日ぐんま

8.23 「モナリザもびっくり!! 親子でアート体験」

- 読売新聞
  - 9.5 「紙を使った創作展」
  - 群馬よみうり あみーご vol.12
  - 7.20 「みんなのアトリエ」
  - 産経新聞
    - 7.18、8.1、8.8、8.29、9.5、9.12  
「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈アートカレンダー〉
  - 毎日新聞
    - 7.17、7.24、7.31、8.7、8.14、8.21、8.28、9.4、9.11  
「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈群馬のミュージアム〉
    - 7.19 「館林市・不思議いっぱい 紙のワンダーランド」  
〈ぐんまワイド〉
  - 每日Weekly くりくり
    - 9.1 「館林市・不思議いっぱい 紙のワンダーランド」  
〈何でも掲示板〉
  - 東京新聞
    - 7.18、8.8、8.29  
「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈美術館博物館〉
    - 8.7 「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈ウイークリーぐんま〉
  - おおたタイムス
    - 7.13 ワークショップ参加者募集

[定期刊行物]

- MY City TATEBAYASHI
  - 8月 (vol.12)、9月 (vol.13)  
「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」〈イベント・インフォメーション／地域通信〉
- からつ風
  - 7.8月号、9.10月号  
「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」
  - 上毛でりじえい
    - 8月 「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」
  - 足利漫我人
    - 7月、8月  
県立館林美術館情報
    - 館林ふるさとマガジン
      - 7.15、8.15  
「今月のジャガール君」
      - ぐんま見聞録
        - 7.12、7.19、8.9、8.16  
「いいとこ先取り」

◎放送

- 群馬テレビ
  - 7.26 19:30-20:00／7.29 17:30-18:00 〈ぐんまいんフォーメーション〉

- NHK教育
  - 9.1 9:45-10:00／20:45-21:00 〈新日曜美術館(アートシーン)〉
  - エフエム群馬
    - 7.30 19:30-20:00／8.4 10:30-11:00 〈ぐんま21〉
    - 8.23 10:45-11:00 〈ぐんま情報トッピング〉
    - 8.23 17:47-51 〈FM県政ガイド〉
    - FM TARO
      - 7.17 8:20-25 〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

- 公開展示(チャレンジスクール：館林市立第八小学校6年)
  - 7.16-17 作家：樋尾正次、北山善夫
    - ワークショップ 紙であそぼう！
      - その1 「海藻紙でつくるふしぎなかたち」 講師：半谷学
        - 7.20 (小中学生向け)、7.21 (一般向け)
      - その2 「紙でつくる音のできるかたち」 講師：樋尾正次
        - 7.27-28 (小学生～一般向け)
      - その3 「おもいでをとじこめる紙」 講師：当館学芸員
        - 8.24 (小中学生向け)、8.25 (一般向け)
      - 創作体験コーナー「みんなのアトリエ」
        - 7.25、8.1、8.8、8.15、8.22、8.27、9.5、9.12



### 3. 「北大路魯山人展 食のこころ、器のたのしみ」

会期 平成14年9月28日(土)～11月24日(日)  
会場 展示室2、3、4  
主催 群馬県立館林美術館  
観覧料 一般800(640)円、大高生400(320)円  
( ) 内は20名以上の団体割引料金

北大路魯山人（1883～1959）は、京都に生まれ、早くから書・篆刻で優れた才能を発揮し、世に認められた。食に強いこだわりを持っていた魯山人は、料理にはそれにふさわしい器が必要であるとの考え方から、作陶の世界に入っていく。「星岡茶寮」の顧問兼料理人となった魯山人が北鎌倉に窯を設け、本格的な作陶活動を行うのは40歳を過ぎてからのこ

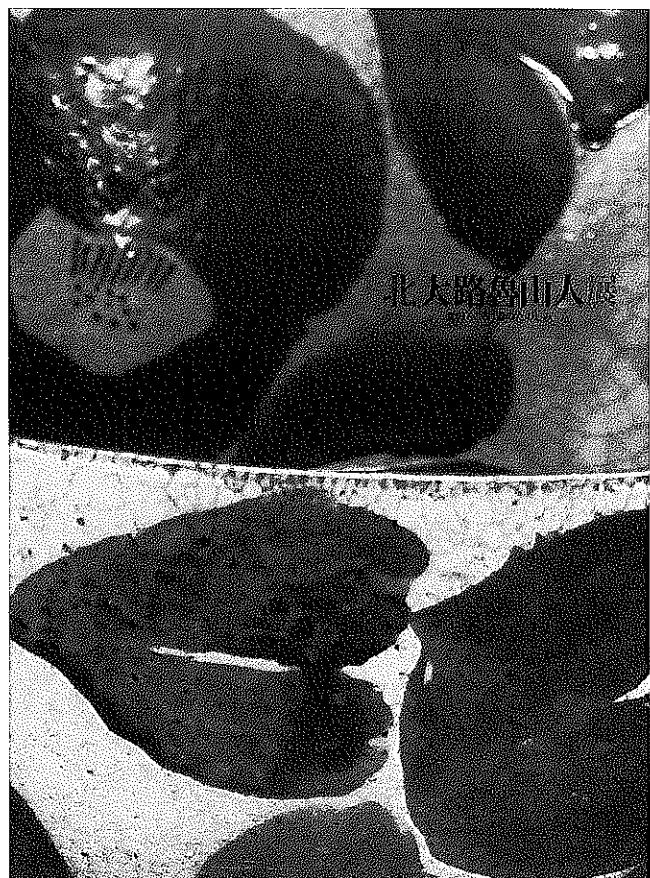
とであるが、特定の師につくことはなく、古陶磁の研究と自らの見識によって、流派にとらわれない多くの作品を生み出した。闊達自在で創造性に富んだ魯山人の作品は、国内だけでなく海外でも高い評価を得ている。

本展は、世田谷美術館の所蔵作品を中心に、京都国立近代美術館の所蔵作品をあわせて、陶磁器、漆器や書、絵画の107点を展示することによって、魯山人の多彩な芸術世界を紹介した。また、あわせて会場には、出品作品に料理を盛りつけた写真パネルを参考展示した。

会場には陶芸愛好者をはじめ多数の入場者を迎え、改めて魯山人の人気の高さをうかがわせた。



ポスター



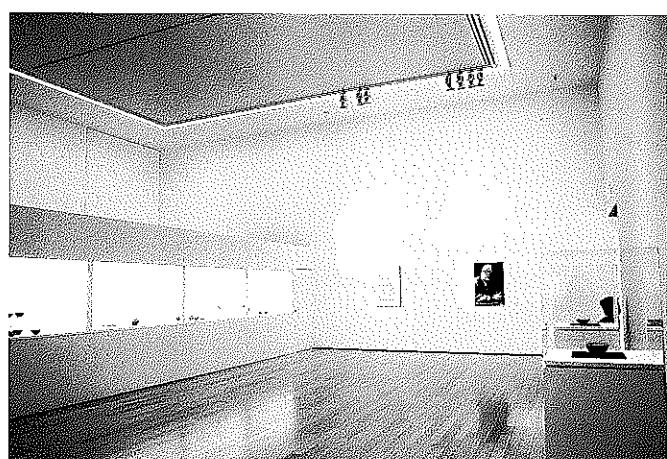
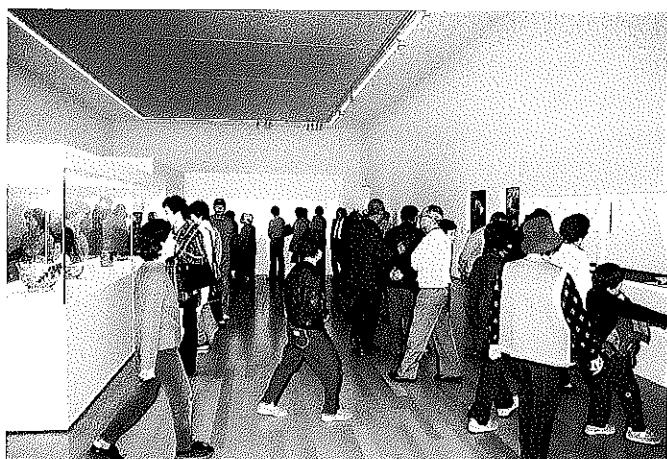
図録

## 出品目録

No.	作品名	数	制作年(年号)	技法・材質	高さcm	幅/径cm	奥行cm	所蔵
魯山人の陶芸								
1	赤吳須水注		昭和初期	磁	8.5	7.3	6.5	世田谷美術館
2	色絵魚文皿		昭和初期	磁	2.5	22.0		世田谷美術館
3	赤絵魚文皿		昭和10代	磁	1.8	28.5		世田谷美術館
4	赤吳須茶碗	5	昭和10代	磁	各7.7	10.7		世田谷美術館
5	赤吳須徳利	2	昭和10代	磁	各12.0	9.0		世田谷美術館
6	赤吳須向付	10	昭和10代	磁	各5.6	11.5		世田谷美術館
7	赤玉酒盃	5	昭和10代	磁	各2.9	4.9		世田谷美術館
8	赤玉酒盃	5	昭和10代	磁	各3.0	4.8		世田谷美術館
9	色絵文字皿		昭和10代	磁	3.4	28.2		世田谷美術館
10	赤吳須水注		昭和10代	磁	7.6	8.9	7.5	世田谷美術館
11	色絵アルヘイ文湯のみ		昭和10-20代	磁	8.2	6.6		世田谷美術館
12	赤絵湯のみ		昭和10-20代	磁	8.5	7.2		世田谷美術館
13	色絵竹に牡丹筒向付	5	昭和20以降	陶	各7.0	7.6		世田谷美術館
14	磁器赤絵筋文中皿		昭和25	磁	5.0	30.8		京都国立近代美術館
15	染付葡萄文鉢		昭和初期	磁	12.3	21.0		世田谷美術館
16	蟹絵半鉢	5	昭和10代	磁	各4.0	17.2		世田谷美術館
17	色絵染付鮑形鉢		昭和10代	磁	6.3	29.0	20.0	世田谷美術館
18	染付竹絵水指		昭和10代	磁	20.1	14.0		世田谷美術館
19	染付海者文皿	2	昭和10-20代	磁	左3.5、右3.5	左22.2、右22.9		世田谷美術館
20	染付福字皿		昭和10-20代	磁	2.0	22.0		世田谷美術館
21	染付口紅文字大磁壺		昭和24	磁	33.8	26.3		京都国立近代美術館
22	赤絵金欄手酒盃	2	昭和10代	磁	各3.5	6.2		世田谷美術館
23	色絵金欄手水注		昭和10代	磁	7.5	9.2	8.0	世田谷美術館
24	白地金欄手碗	5	昭和16	磁	各6.0	12.4		京都国立近代美術館
25	雲錦大鉢		昭和10代	陶	22.5	46.8	33.6	世田谷美術館
26	雲錦鉢（小）		昭和10代	陶	11.5	22.0		世田谷美術館
27	雲錦鉢（中）		昭和10代	陶	13.1	27.0		世田谷美術館
28	椿文鉢		昭和10代	陶	10.9	22.0		世田谷美術館
29	富士鉢		昭和10代	陶	12.2	24.8		世田谷美術館
30	絵志野雪竈小皿	2	昭和10-20代	陶	左2.0、右2.1	左12.3、右12.0		世田谷美術館
31	色絵金彩椿文鉢		昭和30	陶	20.0	36.0		京都国立近代美術館
32	土釜「利根坊（塩田氏愛称）耳を作る」		昭和10代	陶	13.8	20.4		世田谷美術館
33	絵瀬戸鉢		昭和初期	陶	9.3	21.0		世田谷美術館
34	鉄絵皿	5	昭和10代	陶	各2.2	16.2		世田谷美術館
35	鉄絵葡萄文碗		昭和10-20代	陶	5.5	10.7		世田谷美術館
36	鉄絵蓋向付		昭和10-20代	陶	10.3	16.0		世田谷美術館
37	鉄絵蓋向付		昭和10-20代	陶	9.3	15.9		世田谷美術館
38	麦藁手飯茶碗	2	昭和20以降	陶	各7.3	10.8		世田谷美術館
39	刷毛目寿文鉢		昭和10代	陶	8.4	18.5		世田谷美術館
40	刷毛目茶碗		昭和10代	陶	6.5	14.3		世田谷美術館
41	刷毛目鉢		昭和10-20代	陶	8.3	19.8		世田谷美術館
42	黄伊羅保茶碗		昭和10代	陶	6.0	15.5		世田谷美術館
43	皮鯨茶碗		昭和10代	陶	6.6	13.4		世田谷美術館

No.	作品名	数	制作年(年号)	技法・材質	高さcm	幅/径cm	奥行cm	所蔵
44	織部角向付	2	昭和初期	陶	各4.5	12.5	12.5	世田谷美術館
45	織部蓋向付		昭和初期	陶	8.9	16.0		世田谷美術館
46	織部蓋向付		昭和初期	陶	9.2	16.0		世田谷美術館
47	織部かすみ平鉢		昭和10代前半	陶	4.0	35.7		世田谷美術館
48	織部扇面鉢		昭和10代	陶	6.6	24.5	22.3	世田谷美術館
49	織部扇面鉢		昭和10代	陶	6.8	25.0	22.5	世田谷美術館
50	織部桶鉢		昭和10-20代	陶	30.3	22.0		世田谷美術館
51	織部しのぎ湯のみ		昭和10-20代	陶	9.2	7.4		世田谷美術館
52	織部しのぎ湯のみ		昭和10-20代	陶	8.2	7.8		世田谷美術館
53	織部扇面鉢		昭和10-20代	陶	7.8	29.8	27.0	世田谷美術館
54	総織部櫛目寿文四方隅切平鉢		昭和10-20代	陶	4.3	22.7	22.7	世田谷美術館
55	織部土瓶		昭和20以降	陶、銀製鉢	9.7	15.3	12.7	世田谷美術館
56	織部俎板盤		昭和24	陶	7.0	50.0	24.8	京都国立近代美術館
57	総織部大深鉢		昭和24	陶	18.0	39.8		京都国立近代美術館
58	織部十字皿		昭和26	陶	3.0	21.0		京都国立近代美術館
59	織部六角透平鉢		昭和32	陶	7.5	27.7		京都国立近代美術館
60	黄瀬戸あやめ文鉢		昭和10代	陶	6.4	24.2		世田谷美術館
61	竹形花入		昭和10代	陶	27.0	9.4		世田谷美術館
62	黄瀬戸筒茶碗		昭和10代	陶	8.0	10.5		世田谷美術館
63	黄瀬戸福字鉢		昭和10代	陶	5.6	24.7		世田谷美術館
64	黄瀬戸タンパンあやめ影文角盤		昭和26	陶	4.3	20.0	20.0	京都国立近代美術館
65	志野香合「くづや」		昭和10代	陶	4.5	6.5		世田谷美術館
66	志野茶碗		昭和10代	陶	8.9	12.0		世田谷美術館
67	志野葡萄文平鉢		昭和10代	陶	3.0	34.6		世田谷美術館
68	鼠志野輪花向付		昭和10代	陶	4.3	13.2		世田谷美術館
69	志野魚文皿		昭和10-20代	陶	2.3	24.5		世田谷美術館
70	紅志野酒呑		昭和20以降	陶	4.4	5.0		世田谷美術館
71	瀬戸黒茶碗		昭和20以降	陶	7.3	12.5		世田谷美術館
72	伊賀釉長鉢		昭和10代	陶	3.0	39.0	20.0	世田谷美術館
73	伊賀釉平鉢		昭和10代	陶	6.4	36.5		世田谷美術館
74	伊賀建水		昭和10-20代	陶	10.4	16.5		世田谷美術館
75	伊賀花生		昭和20代	陶	17.8	9.8		世田谷美術館
76	信楽角向付		昭和10代	陶	14.3	17.5		世田谷美術館
77	信楽灰被花入		昭和20以降	陶	16.0	18.0		世田谷美術館
78	信楽糸瓜花生		昭和32	陶	23.5	22.3		京都国立近代美術館
79	備前風平鉢		昭和10代	陶	6.3	28.5	27.0	世田谷美術館
80	備前茶碗		昭和20以降	陶	6.7	12.0		世田谷美術館
81	備前茶碗		昭和20以降	陶	7.5	11.3		世田谷美術館
82	備前繡襷丸形大鉢		昭和28	陶	6.7	42.5		京都国立近代美術館
83	備前四方盤		昭和29	陶	4.0	35.2	35.2	京都国立近代美術館
84	銀三彩大平鉢		昭和33	陶	6.5	36.5		京都国立近代美術館
魯山人の漆芸								
85	閑張瓢文字盆		大正15頃	漆、銀箔、紙	2.6	32.5		世田谷美術館

No. 作品名	数	制作年(年号)	技法・材質	高さcm	幅/径cm	奥行cm	所蔵
86 日月椀	5	昭和12	漆、金箔、銀箔、紙	各11.0	12.8		世田谷美術館
87 木の葉盆(赤)		昭和17	漆、木	2.4	22.5		世田谷美術館
88 木の葉盆(黄)		昭和17	漆、木	2.3	22.5		世田谷美術館
89 桃山風椀	5	昭和19	漆、木	各13.7	12.1		京都国立近代美術館
90 銀地色ねじ文大平椀	5	昭和19	漆、木	各19.0	8.2		京都国立近代美術館
魯山人の書と絵画							
91 濡額「清泉」		制作年未詳	木、胡粉	43.5	70.0		世田谷美術館
92 天上天下唯我独尊		昭和15	紙本墨書	23.7	71.0		世田谷美術館
93 百川異流同会海		昭和15	紙本墨書	30.2	167.0		世田谷美術館
94 千里同風		制作年未詳	紙本墨書	26.0	23.6		世田谷美術館
95 不読居		制作年未詳	紙本墨書	27.0	24.0		世田谷美術館
96 萬里白雲孤月円		制作年未詳	紙本墨書	125.0	29.5		世田谷美術館
97 萬里無雲孤月圓		制作年未詳	紙本墨書	36.4	6.0		世田谷美術館
98 海老		制作年未詳	絹本着色	36.4	6.0		世田谷美術館
99 漁夫生涯竹一竿		制作年未詳	紙本墨画	36.4	6.0		世田谷美術館
100 年魚図		制作年未詳	絹本着色	39.8	51.3		世田谷美術館
101 山菜の絵		制作年未詳	絹本着色	27.0	24.0		世田谷美術館
102 光悦茶碗図		制作年未詳	紙本着色	25.7	23.4		世田谷美術館
103 大明製染付鉢図		昭和16	紙本着色	40.0	50.8		世田谷美術館
104 壺図		制作年未詳	紙本着色	27.0	24.0		世田谷美術館
105 茄子		制作年未詳	紙本着色	27.0	24.0		世田谷美術館
106 猫		制作年未詳	絹本着色	27.0	24.0		世田谷美術館
107 松林図		制作年未詳	絹本着色	27.0	24.0		世田谷美術館



---

## ◎印刷物・会場作成物

・図録 B5 (25.9×19.3cm) 112頁

内容：ごあいさつ

北大路魯山人と陶芸 黒田和哉

図版

魯山人の陶芸

魯山人の漆芸

魯山人の書と絵画

略年譜

主要文献

出品作品リスト

編集・発行：群馬県立館林美術館

デザイン：矢萩喜徳郎

制作：株式会社キジュウロウヤハギ

・ジュニアガイド A3、4つ折り

・ポスターB2

・ちらしA4

・パネル

挨拶パネル1枚

解説パネル16枚

略歴パネル1枚

写真パネル8枚

・会場配布用作品リスト

## ◎主要関連記事

### [新聞等]

・上毛新聞

9.20、10.18、10.25、11.1、11.15

「北大路魯山人展」〈気になる情報 ぱれっと〉

9.25、11.16

「北大路魯山人展」〈ゆうまちゃんの掲示板〉

9.27 「子どもギャラリートーク」

10.1 小林聰「北大路魯山人展」〈プリズム21〉

10.4、11.12

「北大路魯山人展作品解説会」〈ゆうまちゃんの掲示板〉

10.5 「北大路魯山人展関連ワークショップのお知らせ」  
〈ゆうまちゃんの掲示板〉

10.9 「魯山人の横顔語る」

・上毛シャトル

9.16、9.23、9.27、10.4、10.7、10.11、10.14、10.18、  
10.21、10.25、10.28、11.1、11.4、11.8、11.12、  
11.15、11.18、11.22

「北大路魯山人展」〈出かけてみませんか情報BOX〉

10.4 「北大路魯山人展記念講演会」〈出かけてみませんか  
情報BOX〉

「子どもミュージアムスクール 北大路魯山人展」  
〈出かけてみませんか情報BOX〉

10.25 「ワークショップ つちから“たからもの”」〈出かけ  
てみませんか情報BOX〉

10.27 「北大路魯山人展－食のこころ、器のたのしみ」

〈museum〉

・館林タイムス

9.7 「北大路魯山人展」

・朝日新聞

9.28、10.5、10.19

「北大路魯山人展」〈ぐんまマリオン沿線美術館情報〉

・読売新聞

11.12 「魯山人展が人気」

・産経新聞

9.12、9.26、10.3、10.10、10.17、10.24、10.31、11.7、  
11.14、11.21 「北大路魯山人展」〈アートカレンダー〉

・日本経済新聞

9.20 「北大路魯山人展－食のこころ、器のたのしみ」  
〈文化イベント〉

・毎日新聞

9.25、10.2、10.9、10.16、10.23、10.30、11.20

「北大路魯山人展－食のこころ、器のたのしみ」  
〈見る聞く遊ぶ群馬〉

9.27 「館林市・北大路魯山人展」〈ぐんまワイド〉

・東京新聞

9.26、10.10、10.31

「北大路魯山人展－食のこころ、器のたのしみ」  
〈美術館博物館〉

11.20 「北大路魯山人展」〈ウィークリーぐんま〉

〔連載記事〕

・上毛新聞

11.2 工藤三壽男「天才北大路魯山人(1)」〈ざわざわ雑談  
146〉

11.9 工藤三壽男「悲しき星の人(2)」〈ざわざわ雑談147〉

11.16 工藤三壽男「美の追求 食と器にも(3)」〈ざわざわ  
雑談148〉

11.23 工藤三壽男「魯山人の語録抄(4)」〈ざわざわ雑談  
149〉

### [定期刊行物]

・MY City TATEBAYASHI

10.4 「北大路魯山人展」〈イベント・インフォメーション〉

・グラフぐんま

9月 熊谷ゆう子(ギャラリー)「北大路魯山人《椿文鉢》」  
・からつ風

9.10月号 「北大路魯山人展」

・上毛でりじえい

11月 「北大路魯山人展」

・すたんびーど

11月 「北大路魯山人展」

・アートマインド

11月 美術館情報

・エル・ジャポン

12月 「究極の美に生涯を捧げた孤高のマルチクリエーター」

- 足利漫我人

10月、11月

県立館林美術館情報

- 渡良瀬通信

10月、11月

Watarase Information

- 館林ふるさとマガジン

9.15 「今月のジャガール君」

- ぐんま見聞録

9.27、10.25

「いいとこ先取り」

#### ◎放送

- 群馬テレビ

10.16 来館者10万人突破・北大路魯山人展案内

- NHK総合

9.29

- FM ぐんま

10.4 〈ぐんま情報トッピング〉

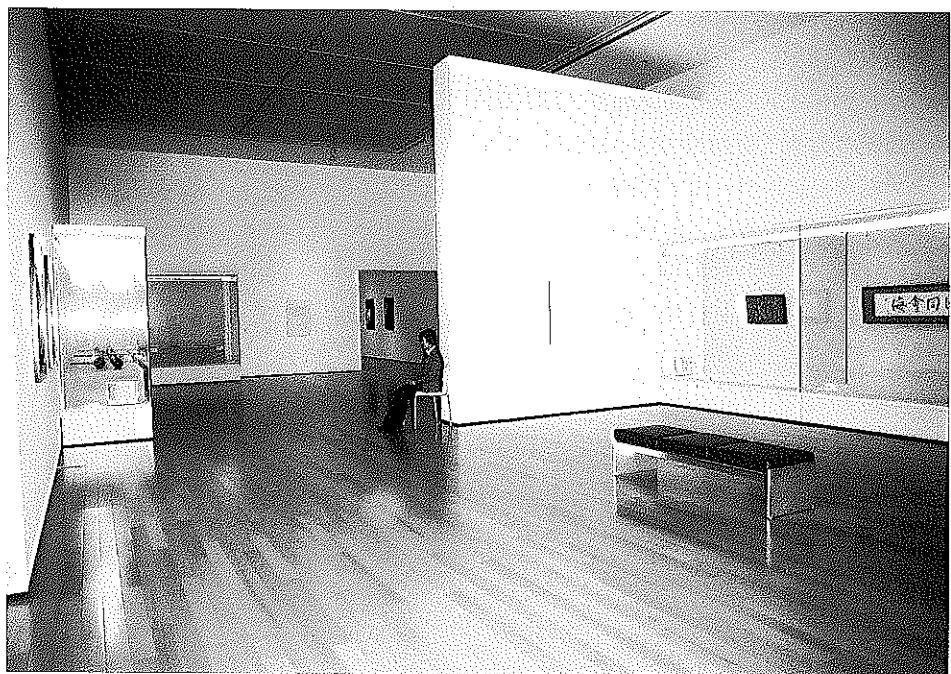
10.4 〈県政ガイド〉

9.28-10.7 〈スポットCM〉

- FM TARO

10.22 〈ぐんまいきいき情報〉

9.23、25、26 〈スポットCM〉



第1期 6月4日(火)～7月7日(日)【第1展示室のみ4月2日(火)～7月14日(日)(前年度より継続展示)】

展示室1

現代の彫刻 4月2日(火)～7月14日(日)

展示室2

ルドン 醒めない夢 6月4日(火)～7月7日(日)

シャガールの《死せる魂》と《ポエム》 6月4日(火)～7月7日(日)

展示室3

愛と苦悩を描く ムンク 6月4日(火)～7月7日(日)

展示室4

西洋の近代美術 6月4日(火)～7月7日(日)

群馬の美術 6月4日(火)～7月7日(日)

第2期 9月28日(土)～11月24日(日)（企画展示「北大路魯山人展」に併設）

展示室4

群馬の美術 9月28日(土)～11月24日(日)

第3期 12月5日(木)～3月30日(日)【第1展示室のみ9月18日(水)～3月30日(日)(次年度に継続展示)】

展示室1

現代の彫刻 9月18日(水)～3月30日(日)(展示作品は第1期と同じ)

展示室2

エコール・ド・パリの作家たち 12月5日(木)～3月30日(日)

日本の近代美術 12月5日(木)～3月30日(日)

展示室3

群馬が生んだ日本画家たち 12月5日(木)～1月13日(月)

着物と布 1月15日(水)～2月23日(日)

日本画に描かれた動物 2月25日(火)～3月30日(日)

展示室4

コレクションにみる線の魅力 12月5日(木)～2月2日(日)

現代の美術 2月5日(水)～3月30日(日)

アルプとアルバース 2月5日(水)～3月2日(日)

マティスとピカソ 3月4日(火)～3月30日(日)

・特に表記した場合を除き、出品リストは作家の生年順に記した。



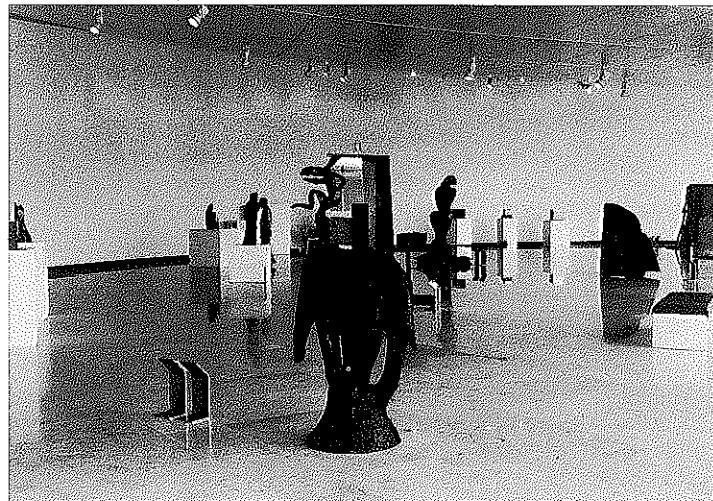
ポスター

## 現代の彫刻

平成14年4月2日(火)～7月14日(日)、9月18日(水)～平成15年3月30日(日) 展示室1

(前年度より継続、次年度に継続展示)

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5×32.2×30.0	群馬県立館林美術館
2	保田春彦	1m立方体	1970	ステンレス・スティール	100.0×100.0×100.0	群馬県立近代美術館
3	保田春彦	立方体分割のための習作	1970	真鍮、ニッケルメッキ	40.2×35.8×36.0	群馬県立近代美術館
4	保田春彦	立方体試作	1971	真鍮、ニッケルメッキ、石	29.5×30.8×27.9	群馬県立近代美術館
5	保田春彦	ソフィット(天井)A	1977	銅	31.6×31.5×31.7	群馬県立近代美術館
6	保田春彦	立ち上がる幕舎	1992	鉄	206.5×212.3×122.0	群馬県立近代美術館
7	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0×75.0×160.0	群馬県立館林美術館
8	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0×130.0×160.0	群馬県立館林美術館
9	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0×122.0×112.0	群馬県立館林美術館
10	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ板	61.0×48.0×39.0	群馬県立館林美術館
11	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5×104.1×62.2	群馬県立館林美術館
12	マリア・ルゴッシー	Dream	1995	合わせガラス、ブロンズ	29.3×38.4×19.4	群馬県立館林美術館
13	マリア・ルゴッシー	Power of Nature VI	1996	合わせガラス、サンドブラスト	51.8×28.6×21.8	群馬県立館林美術館

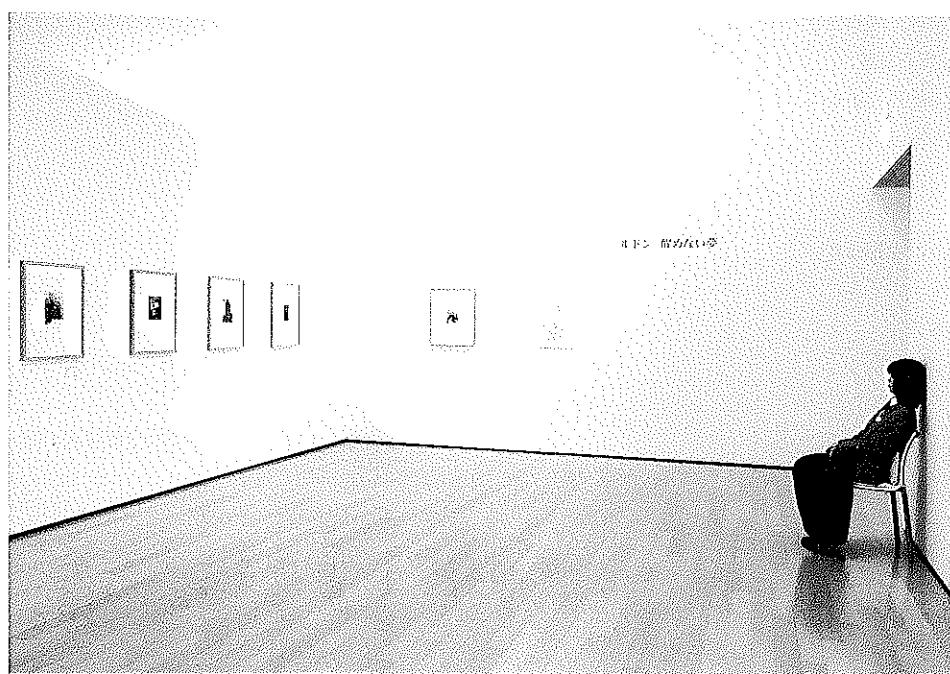


# ルドン 醒めない夢

平成14年6月4日(火)～7月7日(日) 展示室2

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	オディロン・ルドン	ペガサスにのるミューズ	1907-10	油彩・カンヴァス	73.5×54.4	群馬県立近代美術館
	オディロン・ルドン	陪審員	1887	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館
2		I 一般庶民で、残忍な男がひとり、馬の頭の下を通り抜けていった			18.3×13.6	
3		II 樹々の枝が骸骨のように入り組んだ並木道の入り口に、つるりとしてやせ細った亡靈が姿をあらわす			15.5×9.8	
4		III 近くの鐘塔で聖ギュデュルの重々しい鐘の音が時を告げていた			20.5×15.4	
5		IV 彼の部屋の壁が剥け、裂け口から髑髏が現れ出した			18.0×15.1	
6		V 目に見えず、奇矯で、幻想的な、いま萌芽しつつあるものから成る世界が、なぜ存在しないといえようか			21.8×16.9	
7		VI 彼女は劇的で、大いなる様子で、ドルイド教の巫女のような髪をして彼の前に姿をあらわす			19.2×14.2	
8		VII 亡靈の不吉な命令：「お前は自殺しなければならない！」は遂行された。夢は死をもって終わった			23.8×18.7	
	オディロン・ルドン	ギュスター・ヴ・フロベールに （「聖アントワーヌの誘惑」第2集）	1889	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館
9		表紙			25.8×19.7	
10		I 聖アントワーヌ：…その顔を覆い隠す長い髪の毛を透かし見た時、私はそれがアンモナリアだと思いこんだのだ…			28.5×23.0	
11		II …血の色をした細長い蝶…			21.9×18.4	
12		III 死神：私の皮肉には、いかなる皮肉もかないはしない！			26.2×19.7	
13		IV 聖アントワーヌ：どこかに始源的な形象があるはずだ。 その身体は心像に過ぎないので			17.0×12.4	
14		V スフィンクス：…私のまなざしは何物もそらすことができず、万象の彼方、近づきえない地平の果てにじっと向けられた今までいるのだ キマイラ：私はね、軽々として陽気だよ！			28.0×20.0	
15		VI スキアボデス：頭ができるだけ低くすること、それが幸福の秘訣だ！			27.0×20.5	
	オディロン・ルドン	聖アントワーヌの誘惑 第3集	1896	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館
16		III わが口づけは汝の心にとろける果物の味！…汝はわれをさげすむ！さようなら！			19.9×16.0	
17		V 物かげで人々が彼等を励ます他の人々に囲まれて泣いたり祈ったりしている…			26.3×21.4	
18		VIII エレーヌ（エンノイア）			9.3×8.4	
19		IX いきなり三人の女神が現れる			22.8×16.3	
20		XII オアンネス：私は混沌のなか最初の意識として物質を固ませ形をきめるために深淵の中から現れた			27.8×21.7	
21		XIII ここによき女神がいる、イダ山に棲まう女神が			14.9×13.0	
22		XV 彼は奈落の底へまっさかさまに落ちる			27.5×21.0	
23		XVII 老女：何を恐れるのか？広く暗い穴だ！それは多分からっぽだろう？			16.3×10.8	
24		XVIII 死神：おまえを真剣にさせるのは私だ、抱き合おう			30.1×21.2	
25		XX …革袋のように丸い海の動物			21.9×19.2	
26		XXI 大海原の国にはさまざまな人々が住んでいる			30.9×22.9	

No. 作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
オディロン・ルドン	夢想 (我が友アルマ ン・クラヴォーの想い 出のために)	1891年	リトグラフ・紙		群馬県立近代美術館
27	I …それは一枚のヴェール、ひとつの刻印であった…			18.7×13.2	
28	II そして彼方には星の偶像、神格化			27.6×19.1	
29	III ゆらめく光、吊された永遠なるひとつの頭			27.3×20.6	
30	IV かげつた翼の下で、黒い存在が烈しく嘯みついていた…			22.3×17.0	
31	V この世の巡礼者			27.5×20.3	
32	VI 日の光			20.8×15.5	
33 オディロン・ルドン	老いたる騎士	1896年	リトグラフ・紙	29.8×23.9	群馬県立近代美術館



## シャガールの《死せる魂》と《ポエム》

平成14年6月4日(火)～7月7日(日) 展示室2

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
マルク・シャガール	死せる魂(全96点)より	1923-27		エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	38.0×28.0	群馬県立館林美術館
1	I チチコフの到着					
2	II 旅籠屋					
3	IV 知事邸の夜会					
4	IX 扉口でのマニーロフとチチコフ					
5	XV コロボーチカ夫人					
6	XVI ベッドの上のチチコフ					
7	XVII 放し飼いの庭					
8	XVIII 朝のお茶					
9	XIX 道案内					
10	XX 旅籠屋の家					
11	XXII ノズドリョーフ					
12	XXIV トランプ					
13	XXV 警察署長あらわる					
14	XXVIII 農民たち集まる					
15	XXXII ソバケーヴィッヂ					
16	XXXIII ソバケーヴィッヂ夫人					
17	XXXV 支度のできた食卓					
18	XXXVII チチコフとソバケーヴィッヂは取り引きをする					
19	XXXVIII プリューシキンの村					
20	XLI プリューシキンの部屋					
21	XLIV プリューシキンは酒をすすめる					
22	XLVIII ゴーゴリとシャガール					
23	XLIX 大喜びする寝巻姿のチチコフ					
24	XLIXbis 耕作					
25	LVIIIbis 賄賂					
26	LXII 舞踏会にあらわれたチチコフ					
27	LXIV ノズドリョーフの暴露					
28	LXVIII 酒宴はつかみあいに終わる					
29	LXX やせ細った役人たち					
30	LXXIII 檢事死す					
31	LXXIV 歯痛					
32	LXXVI 門番はチチコフを通さない					
33	LXXVIII 檢事の葬列					
34	LXXIX チチコフの誕生					
35	LXXXV 夕暮れのトロイカ					
マルク・シャガール	ポエム	1962-67 (1968刊)			37.0×27.0	群馬県立館林美術館
36	I			木版・紙		
37	II			木版・紙		
38	III			木版、コラージュ(紙)・紙		
39	IV			木版・紙		
40	V			木版・紙		

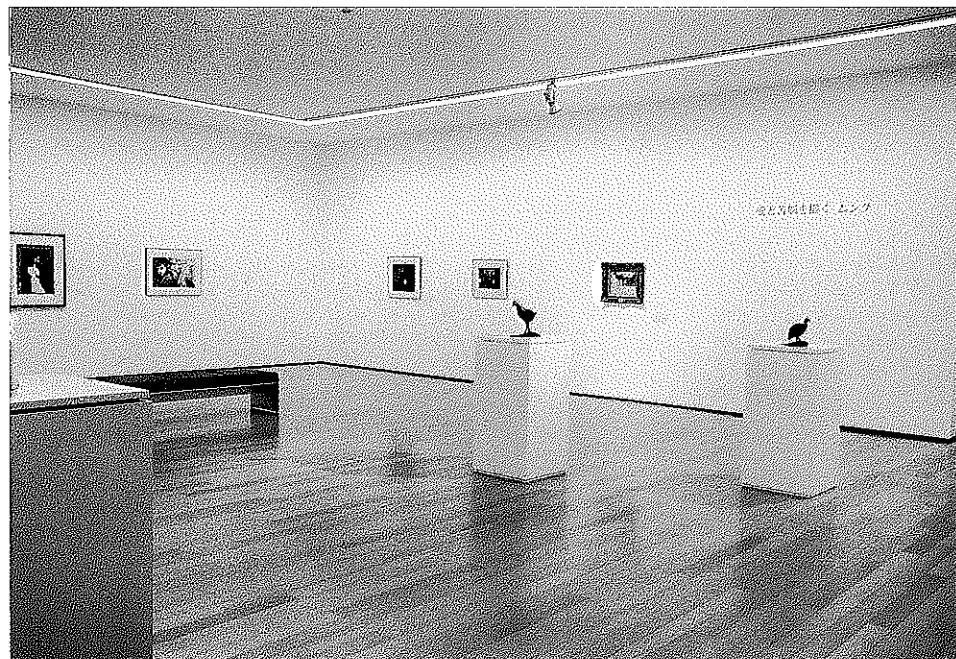
No. 作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
41	VI		木版・紙		
42	VII		木版・紙		
43	VIII		木版・紙		
44	IX		木版・紙		
45	X		木版・紙		
46	XI		木版・紙		
47	XII		木版・紙		
48	XIII		木版・紙		
49	XIV		木版・紙		
50	XV		木版、コラージュ(紙)・紙		
51	XVI		木版、コラージュ(布)・紙		
52	XVII		木版、コラージュ(布)・紙		
53	XVIII		木版、コラージュ(紙)・紙		
54	XIX		木版・紙		
55	XX		木版・紙		
56	XXI		木版・紙		
57	XXII		木版・紙		
58	XXIII		木版・紙		
59	XXIV		木版・紙		



## 愛と苦悩を描く ムンク

平成14年6月4日(火)~7月7日(日) 展示室3

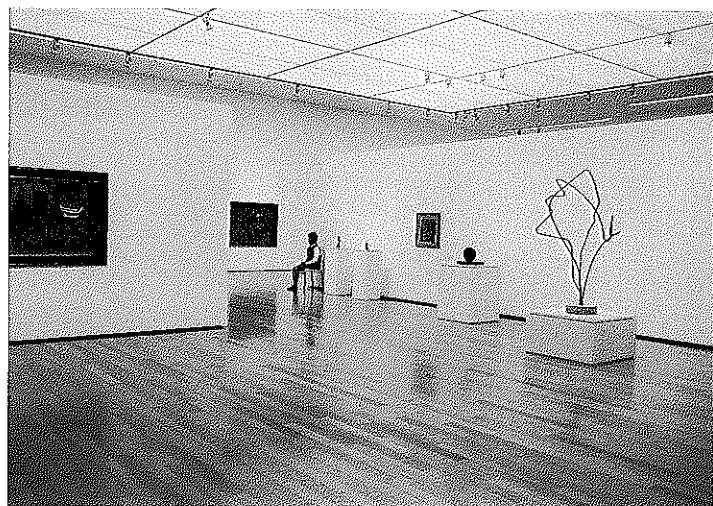
No. 作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1 エドヴァルト・ムンク オースゴールストラン の夏	1890代	油彩・板	26.5×35.0	群馬県立近代美術館	
2 エドヴァルト・ムンク クリストイアニア・ボーヘームII	1895	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	29.4×39.4	群馬県立近代美術館	
3 エドヴァルト・ムンク マドンナ	1895/1902	リトグラフ、木版・紙	60.5×44.2	群馬県立近代美術館	
4 エドヴァルト・ムンク 別離	1896	リトグラフ・紙	41.8×64.5	群馬県立近代美術館	
5 エドヴァルト・ムンク 月光	1896	色彩木版・紙	40.3×47.8	群馬県立近代美術館	
6 エドヴァルト・ムンク 女・三相	1899	リトグラフ・紙	46.0×59.6	群馬県立近代美術館	
7 エドヴァルト・ムンク 少女の頭部	1902	ドライポイント・紙	34.0×26.2	群馬県立近代美術館	
8 エドヴァルト・ムンク 太陽に向かって	1912	リトクレヨン・紙	87.0×64.0	群馬県立近代美術館	
9 エドヴァルト・ムンク 嫉妬	1913-14	エッチング、ドライポイント・紙	19.5×27.0	群馬県立近代美術館	
10 エドヴァルト・ムンク 桟橋の少女たち	1918-20	木版、リトグラフ・紙	49.8×42.7	群馬県立近代美術館	
11 フランソワ・ポンポン ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	群馬県立館林美術館	
12 フランソワ・ポンポン シロクマ	1923-33	大理石	23.6×47.2×13.4	群馬県立館林美術館	
13 フランソワ・ポンポン バン	1923頃	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館	



## 西洋の近代美術

平成14年6月4日(火)～7月7日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	アルベール・マルケ	赤い背景の裸婦	1927-36	油彩・カンヴァス	46.0×65.0	群馬県立近代美術館
2	モーリス・ド・ヴラ マンク	わかれ道	1917	油彩・カンヴァス	26.8×35.5	群馬県立近代美術館
3	ラウル・デュフィ	ポール・ヴィヤール博 士の家族	1927-33	油彩・カンヴァス	114.5×110.0	群馬県立近代美術館
4	パブロ・ピカソ	魚、瓶、コンポート皿 (小さなキッキン)	1922	油彩・カンヴァス	81.0×99.5	群馬県立近代美術館
5	モイーズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩・カンヴァス	62.0×74.0	群馬県立館林美術館
6	ベン・ニコルソン	1968年1月1日 (滑らかな小石)	1968	油彩、水彩・板	64.0×60.0	群馬県立近代美術館
7	ジョルジュ・ルオー	秋	1938	油彩・カンヴァス	68.0×102.0	群馬県立近代美術館
8	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0×35.0×5.0	群馬県立館林美術館
9	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8×38.6×19.2	群馬県立館林美術館
10	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7×5.9×7.6	群馬県立館林美術館
11	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2×6.0×5.4	群馬県立館林美術館
12	バーバラ・ヘップワース	球体のなかのうねり	1938	チーク材	25.7×33.5×27.4	群馬県立近代美術館
13	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド	高さ158.5cm	群馬県立館林美術館



## 群馬の美術

平成14年6月4日(火)～7月7日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	湯浅一郎	海辺逍遙	1900	油彩・カンヴァス	139.0×188.0	群馬県立近代美術館
2	湯浅一郎	画室	1902-03	油彩・カンヴァス	159.5×106.5	群馬県立近代美術館
3	湯浅一郎	巫女	1905	油彩・カンヴァス	81.6×61.0	群馬県立近代美術館
4	湯浅一郎	パリのアトリエにて	1909	油彩・カンヴァス	61.0×61.0	群馬県立近代美術館
5	湯浅一郎	母と子	1921	油彩・カンヴァス	80.0×65.5	群馬県立近代美術館
6	湯浅一郎	夏の家庭	1924	油彩・カンヴァス	81.0×65.5	群馬県立近代美術館
7	福沢一郎	嘘発見器	1930	油彩・カンヴァス	80.3×100.0	群馬県立近代美術館
8	福沢一郎	定めなき世に定めなき 小夜衣 明日は誰が身 の姿ならぬかは	1931	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	群馬県立近代美術館
9	福沢一郎	SLUM LORDS RICH ON OUR MISERY	1965	アクリル・カンヴァス	131.5×103.6	群馬県立近代美術館
10	福沢一郎	ニンフと牧神	1970	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	群馬県立近代美術館
11	福沢一郎	氷にとぎされた亡者達	1971	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	群馬県立近代美術館
12	南城一夫	鯛の静物	1927	油彩・カンヴァス	72.8×91.0	群馬県立近代美術館
13	南城一夫	赤い花	1946	油彩・カンヴァス	52.5×40.5	群馬県立近代美術館
14	南城一夫	花	1950	油彩・カンヴァス	72.5×60.6	群馬県立近代美術館
15	南城一夫	雨のまんじゅしゃげ	1955	油彩・カンヴァス	78.6×60.0	群馬県立近代美術館
16	南城一夫	はす池の鯉	1956	油彩・カンヴァス	72.8×61.0	群馬県立近代美術館
17	南城一夫	ひまわり	1965	油彩・カンヴァス	53.0×46.0	群馬県立近代美術館
18	南城一夫	奏人	1970	油彩・カンヴァス	46.0×61.0	群馬県立近代美術館
19	南城一夫	枇杷	制作年未詳	油彩・カンヴァス	32.0×41.0	群馬県立近代美術館
20	山口薰	緑衣横臥婦人像	1931	油彩・カンヴァス	72.8×92.0	群馬県立近代美術館
21	山口薰	広場の十字架	1933	油彩・カンヴァス	65.2×80.5	群馬県立近代美術館
22	山口薰	蛸壺など	1939	油彩・カンヴァス	80.3×100.0	群馬県立近代美術館
23	山口薰	孤独者のすまい	1955	油彩・カンヴァス	130.5×162.5	群馬県立近代美術館
24	山口薰	水田を飛ぶカーチス式 軽飛行機	1964	油彩・カンヴァス	130.5×162.0	群馬県立近代美術館
25	オノサト・トシノブ	One circle	1958	油彩・カンヴァス	41.0×31.5	群馬県立近代美術館
26	オノサト・トシノブ	WORK	1966	油彩・カンヴァス	50.0×50.0	群馬県立近代美術館
27	オノサト・トシノブ	朱と緑の円	1974	油彩・カンヴァス	91.0×116.0	群馬県立近代美術館
28	オノサト・トシノブ	雷	1976	油彩・カンヴァス	100.0×100.0	群馬県立近代美術館
29	鶴岡政男	夜の群像	1949	油彩・板	130.5×162.0	群馬県立近代美術館
30	鶴岡政男	「夜の群像」下絵	1949	鉛筆・紙	20.7×29.1	群馬県立近代美術館
31	鶴岡政男	ドン・キホーテ	1951	油彩・カンヴァス	112.1×145.5	群馬県立近代美術館
32	鶴岡政男	涙する人(2点組)	1968	油彩・カンヴァス	各162.0×130.5	群馬県立館林美術館

# 群馬の美術

平成14年9月28日(土)～11月24日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	湯浅一郎	漁家	1898	油彩・カンヴァス	61.0×80.5	群馬県立近代美術館
2	湯浅一郎	西洋婦人編物	1907-09	油彩・カンヴァス	72.5×53.0	群馬県立近代美術館
3	湯浅一郎	椅子によれる女	1916	油彩・カンヴァス	91.0×70.5	群馬県立近代美術館
4	湯浅一郎	刺繡する人	1925	油彩・カンヴァス	116.5×91.0	群馬県立近代美術館
5	湯浅一郎	室内婦人	1930	油彩・カンヴァス	130.5×97.5	群馬県立近代美術館
6	横堀角次郎	細き道	1917	油彩・カンヴァス	30.0×30.4	群馬県立近代美術館
7	横堀角次郎	田植えもすみて	1944	油彩・カンヴァス	45.5×53.2	群馬県立近代美術館
8	横堀角次郎	百合	1975	油彩・カンヴァス	53.2×45.5	群馬県立近代美術館
9	福沢一郎	無敵の力	1930	油彩・カンヴァス	90.9×116.7	群馬県立近代美術館
10	福沢一郎	狩獵	1956	油彩・カンヴァス	193.9×259.1	群馬県立近代美術館
11	福沢一郎	創成	1959	油彩・カンヴァス	97.0×130.3	群馬県立近代美術館
12	福沢一郎	プラカードを持つ女	1965	アクリル・カンヴァス	130.3×97.0	群馬県立近代美術館
13	南城一夫	風景	1939	油彩・カンヴァス	100.0×80.3	群馬県立近代美術館
14	南城一夫	野菜のある静物	1947-48頃	油彩・カンヴァス	72.7×100.0	群馬県立近代美術館
15	南城一夫	盛花	1950	油彩・カンヴァス	61.0×73.0	群馬県立近代美術館
16	中村節也	アリゾナ	1964	油彩・カンヴァス	96.9×193.5	群馬県立近代美術館
17	中村節也	アジャンタ石窟遺跡と ブーゲンビリア	1975	油彩・カンヴァス	50.0×60.6	群馬県立近代美術館
18	山口薰	赤城の裾野	1935	油彩・カンヴァス	65.3×80.3	群馬県立近代美術館
19	山口薰	ブルターニュの回想	1947	油彩・カンヴァス	73.0×61.0	群馬県立近代美術館
20	山口薰	浮ぶ(蜘蛛の糸と裸婦)	1956	油彩・カンヴァス	60.5×72.8	群馬県立近代美術館
21	山口薰	林の中の小鳥のアパート	1966	油彩・カンヴァス	80.3×100.0	群馬県立近代美術館
22	鶴岡政男	落下する人体	1954	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	群馬県立近代美術館
23	鶴岡政男	クラゲ	1967	油彩・カンヴァス	130.5×162.5	群馬県立近代美術館
24	鶴岡政男	涙する人(2点組)	1968	油彩・カンヴァス	各162.0×130.5	群馬県立館林美術館



群馬の美術 6月4日(火)～7月7日(日)



群馬の美術 9月28日(土)～11月24日(日)

## エコール・ド・パリの作家たち

平成14年12月5日(木)～平成15年3月30日(日) 展示室2

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示期間
1	マリー・ローランサン	少女とエアデール・テリア	1937	油彩・カンヴァス	55.0×46.0	群馬県立近代美術館 寄託作品	
2	レオナール・フジタ	人形を抱く少女	1923	油彩・カンヴァス	73.4×54.3	群馬県立近代美術館	
3	レオナール・フジタ	男の肖像	制作年未詳	鉛筆・紙	43.5×30.6	群馬県立近代美術館	前期
4	レオナール・フジタ	婦人像	制作年未詳	鉛筆・紙	38.7×29.8	群馬県立近代美術館	後期
5	チャーナ・オルロフ	魚／噴水	1929	ブロンズ	40.7×13.3×40.5	群馬県立館林美術館	
	マルク・シャガール	サーカス(全38点)より	1967	リトグラフ・紙	42.0×32.0	群馬県立近代美術館	
6		(6) 無題					○
7		(7) 無題					●
8		(9) 大きな道化師					○
9		(10) 黄色の道化師					○
10		(11) 空中ブランコ乗りと曲芸師					●
11		(12) リング					○
12		(15) 猛獸使い					○
13		(16) オーギュスト(道化師)					●
14		(18) 無題					○
15		(22) 白い服の女曲馬師					●
16		(23) 黄色のリング					○
17		(24) 無題					○
18		(26) 無題					●
19		(27) 青い女曲馬師					○
20		(29) 無題					●
21		(32) 扇を持つ女曲馬師					○
22		(33) 花束を持つ娘					○
23		(34) 軽業師たち					●
24		(35) 空中ブランコ乗り					○
25		(36) 無題					○
26		(38) 演奏する道化師					○
27	ジュール・バスキン	丸椅子に座る長い髪の少女	1924	油彩・カンヴァス	81.0×64.5	群馬県立近代美術館	
28	モイーズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩・カンヴァス	62.0×74.0	群馬県立館林美術館	
29	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	群馬県立館林美術館	
30	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	群馬県立館林美術館	
31	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	群馬県立館林美術館	
32	フランソワ・ポンポン	パン	1923頃	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館	
33	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	大理石	23.6×47.2×13.4	群馬県立館林美術館	



※展示期間 前期：12/5～2/2、後期：2/4～3/30、○：12/5～1/13、●：1/15～2/23、◎：2/25～3/30

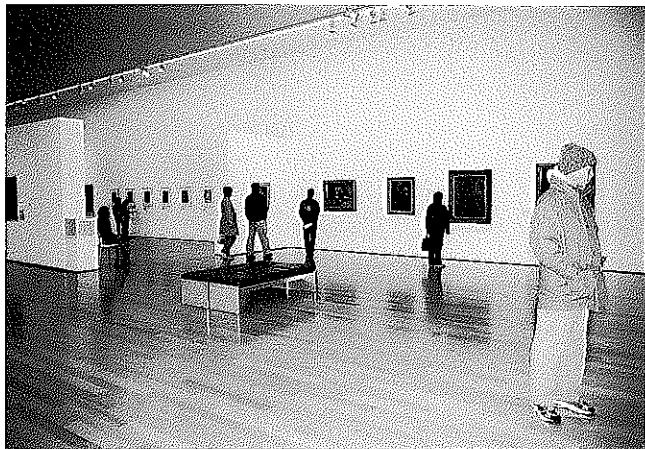
※エコール・ド・パリの作家は生年順に記した。

# 日本の近代美術

平成14年12月5日(木)～平成15年3月30日(日) 展示室2

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示期間
1	湯浅一郎	漁家	1898	油彩・カンヴァス	61.0×80.5	群馬県立近代美術館	
2	湯浅一郎	西洋婦人編物	1907-09	油彩・カンヴァス	72.5×53.0	群馬県立近代美術館	
3	湯浅一郎	椅子によれる女	1916	油彩・カンヴァス	91.0×70.5	群馬県立近代美術館	
4	湯浅一郎	刺繡する人	1925	油彩・カンヴァス	116.5×91.0	群馬県立近代美術館	
5	山下新太郎	萩	制作年未詳	油彩・カンヴァス	53.0×45.8	群馬県立近代美術館	
6	金山平二	嬢恋村	1935-45	油彩・カンヴァス	45.5×65.1	群馬県立館林美術館	
7	安井曾太郎	足を洗う女	1913	油彩・カンヴァス	116.8×80.3	群馬県立近代美術館	
8	国吉康雄	乳母と子供	1924	油彩・カンヴァス	50.0×40.0	群馬県立近代美術館	
9	長谷川利行	少女	1935	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	群馬県立近代美術館	
10	高畠達四郎	婦人像	1927	油彩・カンヴァス	82.0×73.0	群馬県立近代美術館	
11	福沢一郎	怖るべき子供	1930	油彩・カンヴァス	60.0×81.0	群馬県立近代美術館	
12	福沢一郎	黒人聖歌	1962	油彩・カンヴァス	259.1×193.9	群馬県立近代美術館	
13	福沢一郎	プラカードを持つ女	1965	アクリル・カンヴァス	130.3×97.0	群馬県立近代美術館	
14	福沢一郎	ニンフと牧神	1970	アクリル・カンヴァス	227.3×181.8	群馬県立近代美術館	
15	南城一夫	L氏像	1935	油彩・カンヴァス	24.0×13.8	群馬県立近代美術館	前期
16	南城一夫	盛花	1950	油彩・カンヴァス	61.0×73.0	群馬県立近代美術館	
17	南城一夫	フルート奏者	1971	油彩・カンヴァス	23.5×32.5	群馬県立館林美術館	後期
18	山口薰	パリの画室から	1932	油彩・カンヴァス	80.5×65.2	群馬県立近代美術館	
19	山口薰	森	1936	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	群馬県立館林美術館	
20	山口薰	白痴の愛・あやこ	1955	油彩・カンヴァス	91.0×72.6	群馬県立近代美術館	
21	鶴岡政男	落下する人体	1954	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	群馬県立近代美術館	
22	鶴岡政男	クラゲ	1967	油彩・カンヴァス	130.5×162.5	群馬県立近代美術館	★
23	鶴岡政男	涙する人(2点組)	1968	油彩・カンヴァス	各162.0×130.5	群馬県立館林美術館	
24	オノサト・トシノブ	WORK	1966	油彩・カンヴァス	50.0×50.0	群馬県立近代美術館	★
25	オノサト・トシノブ	波紋の緑	1968	油彩・カンヴァス	130.3×193.9	群馬県立近代美術館	
26	オノサト・トシノブ	朱と緑の円	1974	油彩・カンヴァス	91.0×116.0	群馬県立近代美術館	
27	オノサト・トシノブ	雷	1976	油彩・カンヴァス	100.0×100.0	群馬県立近代美術館	
28	藤田政利	Room 硬化I	1977	鉄	91.0×120.0×92.0	群馬県立近代美術館	
29	小林孝亘	Cloud	1999	油彩・カンヴァス	238.0×350.0	群馬県立館林美術館	☆

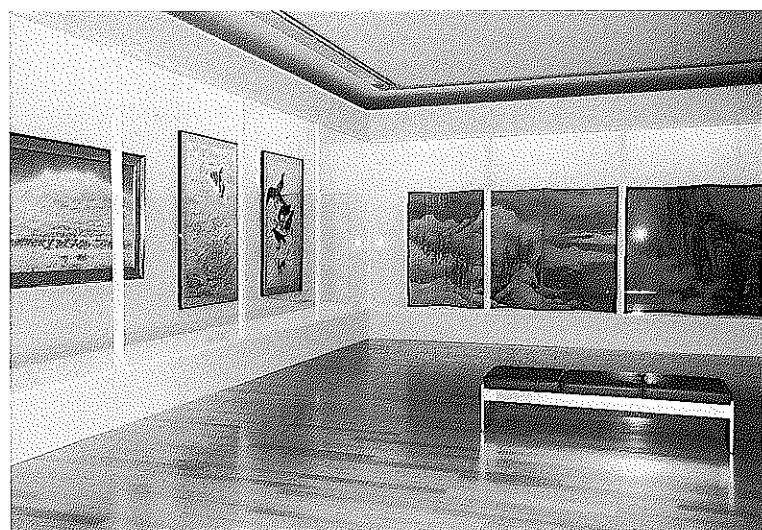
※展示期間 前期：12/5-2/2、後期：2/4-3/30、★：12月5日-12月23日、☆：12月25日-3月30日



## 群馬が生んだ日本画家たち

平成14年12月5日(木)～平成15年1月13日(月) 展示室3

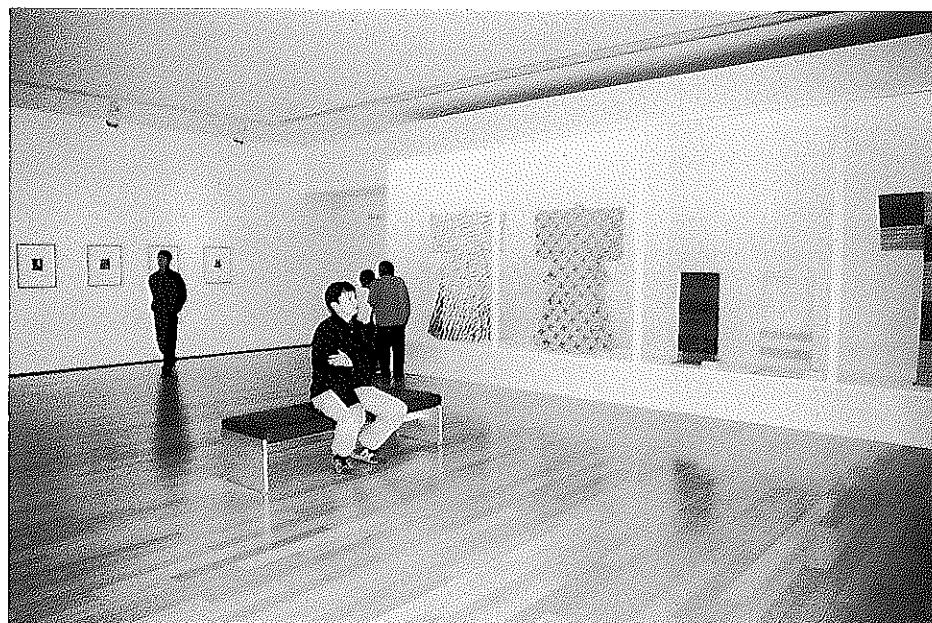
No. 作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1 小室翠雲	夏冬山水図屏風	1923	絹本着色淡彩・六曲一双屏風	各167.0×360.0	群馬県立館林美術館
2 磯部草丘	谷川岳	1966	紙本着色・六曲一双屏風	各155.0×362.0	群馬県立近代美術館
3 福田元子	磯	1942	絹本着色・額装	168.3×100.4	群馬県立近代美術館
4 福田元子	夕映え	1943	絹本着色・額装	173.4×107.8	群馬県立近代美術館 寄託作品
5 高橋常雄	故山春雪	1987	絹本着色・額装	97.0×162.0	群馬県立近代美術館



# 着物と布

平成15年1月15日(水)～2月23日(日) 展示室3

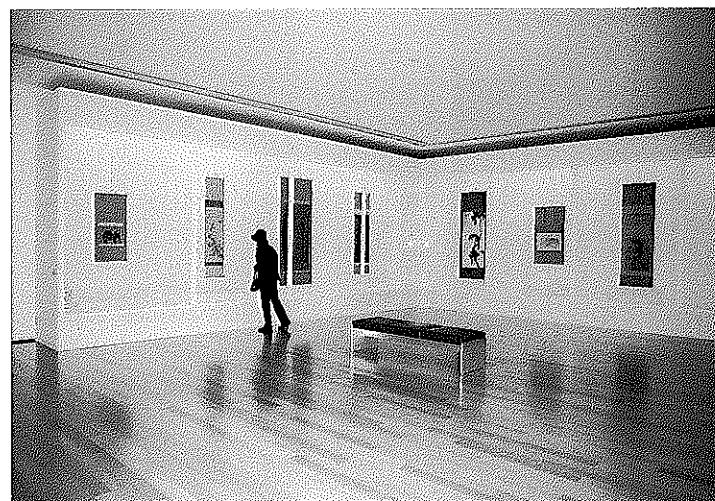
No. 作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1 志村ふくみ	磐余	1981	紬織ショール	196.0×39.0	群馬県立近代美術館
2 志村ふくみ	藍格子段	1983	紬織着物	169.0×69.0	群馬県立近代美術館
3 志村ふくみ	萌黄白段	1984	紬織着物	162.0×68.0	群馬県立近代美術館
4 志村ふくみ	生絹格子	1984	紬織ショール	200.7×47.5	群馬県立近代美術館
5 志村ふくみ	翠淵	1987	紬織着物	168.0×67.8	群馬県立近代美術館
6 志村ふくみ	華の響	1989	紬織着物	167.0×66.5	群馬県立近代美術館
7 志村ふくみ	白い翼	1989	紬織着物	167.0×66.5	群馬県立近代美術館
8 志村ふくみ	沈める寺	1991	紬織着物	167.3×66.5	群馬県立近代美術館
9 志村ふくみ	花垣	1999	紬織着物	171.0×67.0	群馬県立近代美術館
10 志村ふくみ	裂帖	2000	紬織	各29.0×28.0	群馬県立近代美術館
11 北村武資	金地経錦丸帯	1987	帯地	幅70.0cm	群馬県立近代美術館
12 北村武資	羅地金鸞丸帯	1997	帯地	幅70.0cm	群馬県立近代美術館
13 森口邦彦	白雨	1970	友禅染着物	168.0×63.0	群馬県立近代美術館
14 森口邦彦	天動	1986	友禅染着物	170.5×65.0	群馬県立近代美術館



## 日本画に描かれた動物

平成15年2月25日(火)～3月30日(日) 展示室3

No. 作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1 伝狩野光信	花鳥図	室町時代	紙本着色・軸装	88.6×37.2	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
2 狩野昌安	花鳥図	桃山時代	紙本着色・軸装	60.2×30.2	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
3 卓踪	芦雁図	中国・清時代	絹本着色淡彩・軸装	130.0×51.3	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
4 伊孚九	花鳥図	中国・清時代	絹本着色・軸装	132.0×66.6	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
5 円山応挙	花鳥図	1776	絹本着色・軸装	89.7×37.0	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
6 曾我二直庵	松猿図	江戸時代	紙本墨画・軸装	98.7×40.0	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
7 山村直翁	鷹図	江戸時代	紙本墨画・軸装	117.3×48.0	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
8 天龍道人	葡萄に鷹図	1810	紙本墨画淡彩・軸装	126.3×58.6	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
9 葛飾北斎	鯉図	江戸時代	絹本着色淡彩・軸装	101.9×44.0	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
10 建部凌岱	遊魚図	江戸時代	絹本淡彩・軸装	102.0×48.2	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
11 中村芳中	鹿図	江戸時代	紙本墨画・軸装	19.9×47.7	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
12 鳥文斎栄之	大根引き図	江戸時代	紙本墨画・軸装	18.7×48.4	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション
13 亜欧堂田善	馴象図	江戸時代	絹本着色・軸装	26.8×36.8	群馬県立近代美術館・ 戸方庵井上コレクション



## コレクションにみる線の魅力

平成14年12月5日(木)～平成15年2月2日(日) 展示室4

No.著者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示期間
形を描き出す線						
1 フランソワ・ポンポン	羽根をむしられて駆け 回る雄鶲	1910	インク・紙	21.5×10.0	群馬県立館林美術館	前期
2 フランソワ・ポンポン	羽根をむしられて駆け 回る雄鶲	1910	インク・紙	15.0×17.0	群馬県立館林美術館	後期
パブロ・ピカソ	真夜中の馬たち(全12 点)より	1956	エングレーヴィン グ・紙	21.0×15.5	群馬県立館林美術館	
3	(1)					前期
4	(2)					前期
5	(3)					前期
6	(10)					後期
7	(11)					後期
8	(12)					後期
9 バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド	高さ158.5	群馬県立館林美術館	
デイヴィッド・ ホックニー	6つのグリム童話のた めの挿絵(全39点)より	1969 (1970刊)	エッチング、アクア チント、ドライポイ ント・紙	45.5×31.0	群馬県立館林美術館	
10	(4) 魚に隠れた少年					前期
11	(13) 庭の魔法使い					後期
12	(28) 冷たい水が王子を 襲う					後期
13	(29) ガラスの山					後期
14	(31) ガラスを掘り起こ す					前期
15	(32) 粉砕されたガラス の山					前期
16 長谷川潔	花瓶に挿したコクリコ と種草	1937	ピュラン・紙	25.5×20.5	群馬県立近代美術館	前期
17 長谷川潔	水浴の少女と魚	1971	銅版・紙	20.8×13.9	群馬県立近代美術館	後期
18 鶴岡政男	裸婦(7)	1960代	コンテ・紙	43.6×30.0	群馬県立近代美術館	前期
19 鶴岡政男	裸婦(9)	1960代	コンテ・紙	43.6×30.0	群馬県立近代美術館	前期
20 鶴岡政男	裸婦(12)	1960代	コンテ・紙	43.6×30.0	群馬県立近代美術館	後期
21 鶴岡政男	裸婦(13)	1960代	コンテ・紙	43.6×30.0	群馬県立近代美術館	後期
22 山口薫	牛		リトグラフ・紙	40.0×29.0	群馬県立近代美術館	後期
23 山口薫	月に並ぶ馬	1967	リトグラフ・紙	38.5×48.0	群馬県立近代美術館	前期
24 南桂子	春の野原	1954	カラーエッチング・ 紙	29.6×32.6	群馬県立館林美術館	前期
25 南桂子	山	1956	カラーエッチング・ 紙	28.9×32.0	群馬県立館林美術館	後期
26 庄田常章	ドクター・トマア	1984	油彩・カンヴァス	227.3×181.8	群馬県立近代美術館	
躍動する線						
27 ラウル・デュフィ -36	電気の精(全10点)	1953	リトグラフ・紙	101.4×63.8	群馬県立館林美術館	
マックス・エルンスト	ルイス・キャロル 魔 法の角笛(全36点)より	1970	リトグラフ・紙	32.8×24.8	群馬県立館林美術館	
37	(2)					後期
38	(9)					前期
39	(11)					後期
40	(22)					後期

No.著者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示期間
41	(26)					前期
42	(29)					前期
43	(30)					後期
44	(32)					前期
ジョアン・ミロ	独り語る(全72点)より (1950刊)	1948	リトグラフ・紙	38.0×28.0	群馬県立館林美術館	
45	(20)					後期
46	(24)					後期
47	(59)					前期
48	(60)					前期
49	(65)					前期
50	(66)					前期
51	(69)					後期
52 大澤雅休	山嶽重疊	1952	紙本墨書き、二曲一隻 屏風	各140.0×70.0	群馬県立近代美術館	前期
53 大澤雅休	不識底字	1952	紙本墨書き、二曲一隻 屏風	各140.0×69.0	群馬県立近代美術館	後期
54 中島邑水	獸	1979	紙本墨書き、額装	95.5×80.0	群馬県立近代美術館	前期
55 中島邑水	日出(甲骨文による造形)	1981	紙本墨書き、額装	108.5×70.5	群馬県立近代美術館	後期
56 難波田龍起	五月の詩	1961	油彩、エナメル・ カンヴァス	90.9×116.7	群馬県立近代美術館	
57 今井俊満	晩秋	1956-57	油彩、カンヴァス	195.0×114.0	群馬県立近代美術館	
58 宮脇愛子	うつろひ90-17	1990	シルクスクリーン・ 紙	80.0×121.0	群馬県立近代美術館	前期 寄託作品
59	うつろひ90-18	1990	シルクスクリーン・ 紙	80.0×121.0	群馬県立近代美術館	後期 寄託作品
60	うつろひ90-19	1990	シルクスクリーン・ 紙	80.0×121.0	群馬県立近代美術館	前期 寄託作品
61	うつろひ90-22	1990	シルクスクリーン・ 紙	80.0×121.0	群馬県立近代美術館	後期 寄託作品
62 難波田史男	作品8	1966	ペン・紙	73.5×108.5	群馬県立近代美術館	前期 寄託作品
63 難波田史男	無題	1966	ペン・紙	74.5×94.5	群馬県立近代美術館	後期 寄託作品

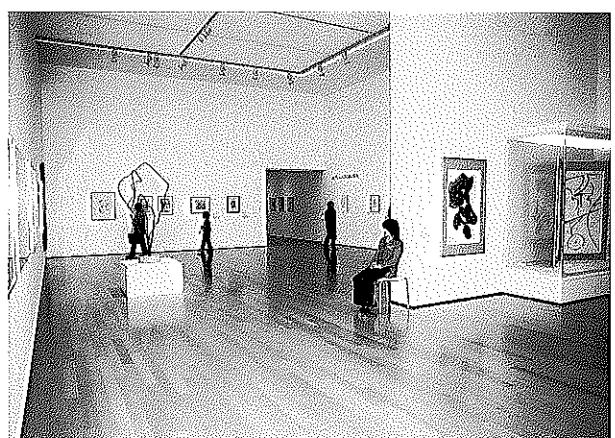
#### 書き合う線

ワシリー・カンディンスキイ	書き(全56点)より	1912	木版・紙	28.0×28.0	群馬県立近代美術館	
64	(1) 赤色の前に立つ二人の騎手					前期
65	(5) 教情的なるもの					前期
66	(7) 月世界の中の二人の婦人					前期
67	(18) 赤、青、黒の中の三人の騎手					後期
68	(25) 白い書き					後期
69	(54) 大いなる復活					後期
オスカー・ココシュカ	夢見る少年たち (全8点)	1908	リトグラフ・紙	24.0×29.0	群馬県立近代美術館	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示期間
70		(1) 眠る女					前期
71		(2) 帆船					前期
72		(4) 遠い島					前期
73		(5) 語らう男女					後期
74		(7) 目覚める人々					後期
75		(8) 少女リーと私					後期
アンディ・ウォーホル	危機に瀕した種 (全10点)より		1983	シルクスクリーン・ 紙	91.5×91.5	群馬県立館林美術館	
76		アフリカ象					前期
77		サンフランシスコ・ シルバースポット					前期
78		ロッキー羊					前期
79		ジャイアントパンダ					後期
80		クロサイ					後期
81		グレーヴィーシマウマ					後期
82		シベリアタイガー					後期
83 ジュゼッペ・ペノーネ	大理石の皮膚ー アカシアのとげ	2001	大理石、アカシアの とげ・カンヴァス	400.0×360.0	株式会社フジカワ画 廊協力		
84 田口安男	うねりのはじめ	1968	油彩・カンヴァス	145.5×145.5	群馬県立近代美術館		
85 田口安男	空にさける	1979	テンペラ・カンヴァス	90.9×116.7	群馬県立近代美術館		
86 翁嶋	ミスター&ミセス・ レインボー	1974	油彩・カンヴァス	71.0×50.8	群馬県立近代美術館		
87 熊井恭子	AIR CUBE	1996	ステンレススチール 線	120.0×150.0×150.0	群馬県立近代美術館		
88 小林尚美	Ito83	1986	木綿	90.0×335.0×4.0	群馬県立館林美術館		
89 草間彌生	無限の網 宇宙にかえ る個々の周辺	1989	アクリル・カンヴァス	162.3×130.4	群馬県立館林美術館 寄託作品		
90 草間彌生	Infinity Nets B.A.Q.	1989	アクリル・カンヴァス	162.3×130.5	群馬県立館林美術館 寄託作品		
91 草間彌生	無限の網 永劫回帰	1989	アクリル・カンヴァス	162.0×130.3	群馬県立館林美術館 寄託作品		
92 草間彌生	Infinity Nets (2.Q.O.)	1989	アクリル・カンヴァス	162.2×130.3	群馬県立館林美術館 寄託作品		
93 草間彌生	無限の網 天の彼方まで	1989	アクリル・カンヴァス	162.0×130.3	群馬県立館林美術館 寄託作品		

※展示期間 前期：12月5日～1月13日、後期：1月15日～2月2日

※各セクションごとに外国人作家と日本人作家に分け、それぞれ生年順に記した。

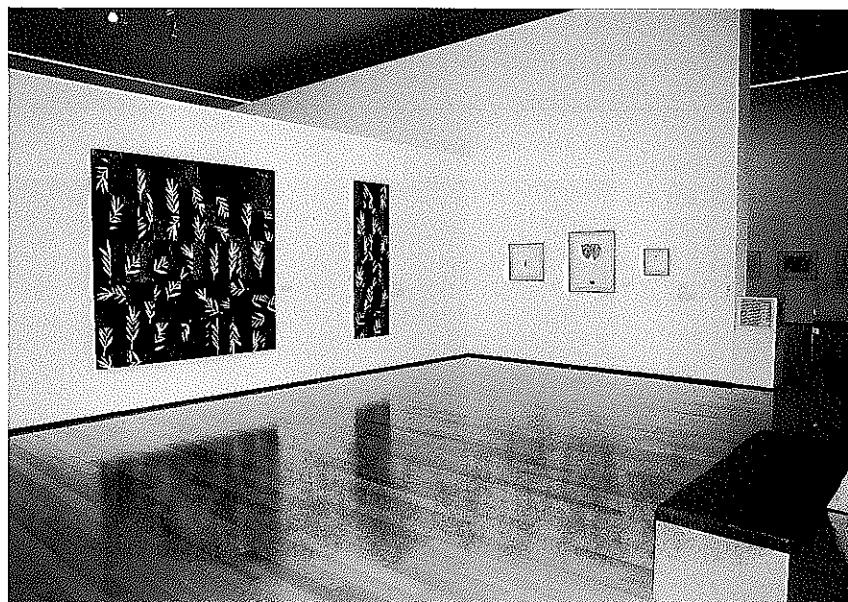


# 現代の美術

平成15年2月5日(水)～3月30日(日) 展示室4

No.著者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示期間
1 スタニスラフ・リベ ンスキー、ヤロスラ ヴァ・ブリフトヴァ	鳥	1997	ガラス	72.0×123.0×25.0	群馬県立館林美術館	
2 カレル・アペル	飛ぶ魚	1977	アクリル・木	53.3×80.0×18.0	群馬県立館林美術館	
3 カレル・アペル	サークス・シリーズ： 鳥の道化	1978	アクリル・木	83.8×89.0×18.0	群馬県立館林美術館	
4 フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4×38.0×26.6	群馬県立館林美術館	
5 クロード・ヴィアラ	無題	1979	アクリル・ 軍用テント	205.4×599.1	群馬県立館林美術館	
6 ジャン=ミッシェル・トスカニア I ムーリス		1990	アクリル、パステ ル・カンヴァス	200.0×200.0	群馬県立館林美術館	
7 ジャン=ミッシェル・トスカニア 4 ムーリス		1990	アクリル、パステ ル・カンヴァス	200.0×62.0	群馬県立館林美術館	
8 フランソワ・ラフランカ	スプルイ	1993	エンボス・石、紙	22.0×20.0	群馬県立館林美術館	後期
9 フランソワ・ラフランカ	トナ	1993	エンボス・石、紙	22.0×20.0	群馬県立館林美術館	前期
10 フランソワ・ラフランカ	モット	1994	エンボス・石、紙	40.0×45.0	群馬県立館林美術館	後期
11 フランソワ・ラフランカ	ソラダ	1994	エンボス・木、紙	40.0×45.0	群馬県立館林美術館	前期
12 フランソワ・ラフランカ	トスカーナ・プロヴァ ンス	1995	エンボス・木、紙	68.0×54.0	群馬県立館林美術館	後期
13 フランソワ・ラフランカ	シェネアンフィ	1995	エンボス・石、木、 紙	40.0×45.0	群馬県立館林美術館	前期
14 ジュゼッペ・ペノーネ	大理石の皮膚—アカシ アのとげ	2001	大理石、アカシアの とげ・カンヴァス	400.0×360.0	株式会社フジカワ画 廊協力	
15 チエスラフ・ズペール	ターコイズ・フォレス ト	1994	ブロンズ、ガラス	46.0×51.0×35.0	群馬県立館林美術館	
16 エマニュエル・コラン	ジュゴン	1991	彩色・檻、ポプラ、 ブナ	30.0×140.0×55.0	群馬県立館林美術館	

※展示期間 前期：2月5日～3月2日、後期：3月4日～3月30日



## アルプとアルバース

平成15年2月5日(水)～3月2日(日) 展示室4

No.作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1 ジャン・アルプ	再びたがをはめられた 太陽(全15点)	1966	木版・紙	50.0×40.0	群馬県立近代美術館
2 ジョーゼフ・アルバース	形成・連接 第1巻 (全33点)より	1972	シルクスクリーン・紙	38.1×50.8	群馬県立近代美術館
	(1)				
	(3)				
	(4)				
	(5)				
	(7)				
	(9)				
	(11)				
	(13)				
	(16)				
	(18)				
	(21)				
	(23)				
	(24)				
	(25)				
	(27)				
	(28)				
	(31)				
	(32)				



# マティスとピカソ

平成15年3月4日(火)～3月30日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	アンリ・マティス	室内・読書	1925	リトグラフ・紙	27.0×19.4	群馬県立近代美術館
2	アンリ・マティス	ダンス	1935-36	エッティング・紙	29.7×80.7	群馬県立近代美術館
	アンリ・マティス	ジャズ(全20点)より	1947	ステンシル、グワッ シュ・紙	42.0×65.5	群馬県立近代美術館
3		(1) 道化師				
4		(2) サーカス				
5		(3) ロワイヤル氏				
6		(4) 白象の悪夢				
7		(6) 狼				
8		(7) ハート				
9		(8) イカルス				
10		(9) フォルム				
11		(12) 水槽を泳ぐ女				
12		(13) 剣を吞み込む男				
13		(14) カウボーイ				
14		(16) 運命				
15		(19) 磨削				
16	パブロ・ピカソ	魚、瓶、コンポート皿 (小さなキッキン)	1922	油彩・カンヴァス	81.0×99.5	群馬県立近代美術館
	パブロ・ピカソ	オノレ・ド・バルザック 「知られざる傑作」 (1931刊)	1927	エッティング・紙	24.5×32.5	群馬県立館林美術館
17		(1) 彫刻の前の彫刻家				
18		(2) 二人のモデルとの間の 画家				
19		(3) 牡牛と馬				
20		(4) 画家と編み物をする モデル				
21		(5) 塑像する彫刻家				
22		(6) イーゼルに向かう禿 頭の画家				
23		(7) 絵筆を捨う画家				
24		(8) 制作中の画家				
25		(9) 三人の立つ裸婦				
26		(10) 動物と男たちのエ スキースに囲まれ 坐る裸体				
27		(11) 絵の前の画家				
28		(12) イーゼルの前の画 家				
	パブロ・ピカソ	ピュフォン「博物誌」 (全31点)より	1942	アクアチント、エッ チング、ドライポイ ント・紙	36.5×28.0	群馬県立館林美術館
29		(2) ロバ				
30		(3) 牡牛				
31		(7) 犬				
32		(9) 鹿				
33		(13) シロワシ				
34		(16) ダチョウ				

No.作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
35	(17) 雄鶏				
36	(21) ゴシキヒワ				
37	(23) 蝶				
38	(24) 畜蜂				
39	(29) ヒキガエル				



## D | 観覧者数一覧表

### コレクション展示

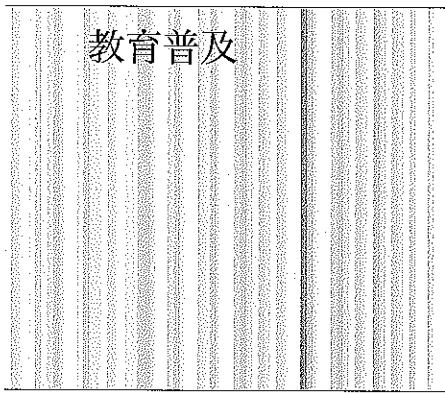
	有料観覧者						無料観覧者						
	個人			団体			有料 合計	小中 学生	学校 団体	身体障 害者等	その他	無料 合計	観覧者 合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計							
西洋の近代美術 6/4~7/7 30日	2,927	146	3,073	1,208	0	1,208	4,281	250	270	87	393	1,000	5,281
小企画 コレクションにみる線の魅 力 12/5~2/2 49日	3,820	179	3,999	161	129	290	4,289	253	275	154	364	1,046	5,335
アルプとアルバース 2/5~3/2 23日	2,143	88	2,231	8	0	82	2,313	126	0	74	167	367	2,680
マティスとピカソ 3/4~3/30 24日	1,907	121	2,028	219	0	219	2,247	219	205	132	263	819	3,066
その他の期間 34日	1,749	53	1,802	237	53	290	2,092	156	108	68	550	882	2,974
コレクション展示 計160日	12,546	587	13,133	1,907	182	2,089	15,222	1,004	858	515	1,737	4,114	19,336

### 企画展示

ニルス=ウド展 自然へ※ 4/1~5/26 49日	9,205	495	9,700	916	204	1,120	10,820	1,059	130	369	2,032	3,590	14,410
不思議いっぱい 紙のワンダーランド 7/20~9/26 57日	7,484	554	8,038	412	0	412	8,450	2,518	447	241	1,463	4,669	13,119
北大路魯山人展 9/28~11/24 51日	15,702	319	16,021	1,136	0	1,136	17,157	582	587	751	7,626	9,546	26,703
企画展示 計157日	32,391	1,368	33,759	2,464	204	2,668	36,427	4,159	1,164	1,361	11,121	17,805	54,232
合計	44,937	1,955	46,892	4,371	386	4,757	51,649	5,163	2,022	1,876	12,858	21,919	73,568

※「ニルス=ウド展 自然へ」の会期は、平成14年3月30日～5月26日である。ここでは平成14年度分の観覧者数のみ記した。

## 教育普及



## A | 講演会

開催日	名称 演題	講師	会場	参加者数
10.6	記念講演会 「北大路魯山人と陶芸」	黒田和哉 (社団法人日本陶芸協会常任理事)	講堂	123

## B | 作品解説会・ギャラリートーク

## 1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
3.30	ニルス＝ウド展 自然へ	ニルス＝ウド(出品作家)	展示室	80
3.31	ニルス＝ウド展 自然へ	ニルス＝ウド(出品作家)	展示室	60
4.16	ニルス＝ウド展 自然へ★	松下由里	展示室	1
4.17	ニルス＝ウド展 自然へ	松下由里	展示室	38
5.4	ニルス＝ウド展 自然へ	徳江庸行	展示室	22
7.31	不思議いっぱい 紙のワンダーランド	伊藤佳之	展示室	12
8.6	不思議いっぱい 紙のワンダーランド★	伊藤佳之	展示室	12
8.11	不思議いっぱい 紙のワンダーランド	伊藤佳之	展示室	18
8.21	不思議いっぱい 紙のワンダーランド	伊藤佳之	展示室	14
9.8	不思議いっぱい 紙のワンダーランド	伊藤佳之	展示室	34
10.8	北大路魯山人展★	熊谷ゆう子	展示室	11
10.9	北大路魯山人展	熊谷ゆう子	展示室	53
10.19	北大路魯山人展	熊谷ゆう子	展示室	39
11.6	北大路魯山人展	熊谷ゆう子	展示室	53
11.16	北大路魯山人展	熊谷ゆう子	展示室	38
12.10	コレクション展示★	神尾玲子	展示室	5
2.4	コレクション展示★	神尾玲子	展示室	1

★印は教職員のための作品解説会

## 2. サンデー・ギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
4.14	神尾玲子	展示室	26
4.21	松下由里	展示室	18
4.28	松下由里	展示室	32
5.26	松下由里	展示室	20
6.9	神尾玲子	展示室	14
6.16	松下由里	展示室	24
6.23	神尾玲子	展示室	15
6.30	松下由里	展示室	7

開催日	解説者	会場	参加者数
7.7	神尾玲子	展示室	9
12.22	神尾玲子	展示室	4
1.12	松下由里	展示室	15
1.26	神尾玲子	展示室	13
2.2	中田宏明	展示室	8
2.9	熊谷ゆう子	展示室	14
3.2	神尾玲子	展示室	16
3.16	松下由里	展示室	25

### 3. 子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
4.13	熊谷ゆう子	展示室	2
4.20	熊谷ゆう子	展示室	2
4.27	熊谷ゆう子	展示室	2
5.4	伊藤佳之	展示室	7
5.18	神尾玲子	展示室	1
5.25	伊多波麻衣子	展示室	4
6.15	神尾玲子	展示室	5
6.22	徳江庸行・松下由里	展示室	21
6.29	神尾玲子	展示室	1
7.6	伊藤佳之	展示室	4
7.20	松下由里	展示室	5
7.27	徳江庸行	展示室	1
8.3	伊藤佳之	展示室	1
8.10	神尾玲子	展示室	4
8.17	伊藤佳之	展示室	2
8.24	徳江庸行	展示室	2
8.31	松下由里	展示室	3
9.7	神尾玲子	展示室	2
9.14	伊藤佳之	展示室	2
10.5	神尾玲子	展示室	2
10.19	伊藤佳之	展示室	6
11.2	伊藤佳之	展示室	1
11.9	熊谷ゆう子	展示室	2
11.16	神尾玲子	展示室	2
12.28	松下由里	展示室	6
1.4	熊谷ゆう子	展示室	4
1.11	熊谷ゆう子	展示室	2
1.18	徳江庸行	展示室	2
1.25	中田宏明	展示室	1
2.8	中田宏明	展示室	1
3.8	神尾玲子	展示室	2
3.15	松下由里	展示室	5
3.29	中田宏明	展示室	4

※参加者のあった回のみ記した。

## C | ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
H14.3.26	1. ニルス＝ウド展 作家によるワークショップ	ニルス＝ウド	彫刻の小径付近	18
3.27			ワークショップ室	22
3.28			彫刻の小径付近・美術館前庭	27
4.20	2. 展示室観察日記 「かたちをさがせ！」	伊藤佳之	ワークショップ室・展示室	6
5.11	3. ニルス＝ウドさんになろう！ 写真でたのしむ自然のかたち	伊藤佳之 熊谷ゆう子	彫刻の小径付近・ワークショップ室	14
5.12				10
5.18			ワークショップ室	5
5.19			彫刻の小径付近・ワークショップ室	3
7.20	4. 紙であそぼう！ その1 「海藻紙でつくるふしぎなかたち」	半谷学	ワークショップ室・展示室	19
7.21				17
7.27-28	紙であそぼう！ その2 「紙でつくる音のできるかたち」	櫻尾正次	ワークショップ室・展示室	18
8.24	紙であそぼう！ その3 「おもいでをとじこめる紙」	伊藤佳之	ワークショップ室	20
8.25				9
11.3、17	5. 土から “たからもの”	伊藤公象 九鬼香織	ワークショップ室	21
12.7-8	6. 木版のあじわい	栗田政裕、松本太郎、久後育大	ワークショップ室	21
2.23 3.1	7. ハクチョウ観察隊	熊谷ゆう子	多々良沼周辺及び ワークショップ室	13 11

### 1. ニルス＝ウド展 作家によるワークショップ

展覧会の開催にあわせて招聘したニルス＝ウドを講師とし、作家自身の制作手法を借りて自然の素材からさまざまなかたちを作った。

### 2. 展示室観察日記「かたちをさがせ！」

展示室内で気に入った形を探してスケッチし、それをもとに自分だけの絵日記を作成した。

### 3. ニルス＝ウドさんになろう！ 写真でたのしむ自然のかたち

自然の中で制作をし、それを写真に撮って残すというニルス＝ウドの制作手法を借りて、参加者それぞれが自然の中での作品制作及び撮影をおこなった。

### 4. 紙であそぼう！

#### ・その1 海藻紙でつくるふしぎなかたち

作家が日頃制作に使用している海藻紙を材料として、いろいろなかたちづくりに挑戦した。小中学生は木や竹の枝を利用した“うちわ”的ななかたちをつくり、高校生へ一般は石やボトルキャップなどで模倣したりしたかたちの中に電球を入れ、光るオブジェをつくった。

#### ・その2 紙でつくる音のできるかたち

鉄線と和紙を使って制作をおこなう作家の手法を借りて、参加者それぞれが用意した“音のもと”を使った“音のできるかたち”を制作した。

#### ・その3 おもいでをとじこめる紙

写真や花びらなどの思い出の品を、牛乳パックや楮、雁皮などによる紙すきでとじこめるという制作をおこなった。

### 5. 土から “たからもの”

陶芸作家の伊藤公象を講師に招き、土に親しみながら自分だけの「たからもの」を作り上げるという活動をおこなった。

## 6. 木版のあじわい

現代版画作家を講師に招き、作家の本格的な制作手法を知るとともに、その手法を使って質の高い木版画づくりを目指した。

## 7. ハクチョウ観察隊

美術館近くの多々良沼には毎年シベリアからハクチョウが飛来することから、実際にハクチョウの姿を観察し、粘土による簡単な立体制作をおこなった。

## D | 創作体験コーナー みんなのアトリエ

展覧会「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」期間中に、簡単な紙漉き体験ができるイベント「創作体験コーナー みんなのアトリエ」を、7月25日～9月12日の毎週木曜日、計8回開催し、合計337名が参加した。

## E | 美術講座

### 1. 群馬のコレクション

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6.12	ルドン 醒めない夢	松下由里	講堂	41
6.19	シャガール 詩情の世界	神尾玲子	講堂	37
6.26	福沢一郎 知られざる1930年代	伊藤佳之	講堂	39
7.3	鶴岡政男 ユーモアとエロス	熊谷ゆう子	講堂	28

### 2. 工芸の現在を知る

開催日	名称	講師	会場	参加者数
10.13	漆芸	諸山正則 (東京国立近代美術館主任研究官)	講堂	71
10.27	染織	今井陽子 (東京国立近代美術館研究員)	講堂	58
11.10	ガラス	武田厚(美術評論家)	講堂	64
11.24	陶芸	金子賢治 (東京国立近代美術館工芸課長)	講堂	62

## F | ミュージアム・オリエンテーリング GMAT 探検隊

小学3年生から中学生を対象とし、クイズやキーワード集めなどのゲームを交えて美術館内を巡り、美術館と展示作品に親しんだ。

開催日	名称	リーダー	会場	参加者数
6.15	美術館の七不思議	熊谷ゆう子	美術館	10
9.7	美術館のうらがわ探検	熊谷ゆう子	美術館	9
1.19	動物さがし、人さがし	熊谷ゆう子	美術館	9

## G | 子どもミュージアム・スクール

今年度より、美術鑑賞やワークショップなどの体験を月1回、年間をとおして8回連続でおこなう「子どもミュージアム・スクール」を開設した。美術館に定期的に集まり、美術館と美術作品に親しんでもらうことを目的とした。対象は小学3年～中学生。講師は熊谷ゆう子ほか当館職員が務めた。

開催日	時間	名称	参加者数
5.25	13:00～17:00	発会式、「ニルス＝ウド 自然へ」ギャラリートーク、ワークショップ 「ニルス＝ウドさんになろう！」	19
6.22	14:00～16:00	美術館内探検	21
7.30	14:00～16:00	「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」ギャラリートーク、「みんなのアトリエ」補助のための講習	19
8月 (参加可能な日時を自由に選ぶ)		「みんなのアトリエ」補助	25
9.15	13:30～16:30	「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」ワークショップ	21
10.5	13:30～16:00	「北大路魯山人展」ギャラリートーク、ワークショップ	20
11.30	13:30～16:00	ハクチョウ観察隊	20
12.21	13:30～16:00	展示室観察日記	16

## H | 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目標としているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などをおこなった。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明等をおこなった。

### 1. 学校との連携事業

開催日	名称	学校名、学年	講師	会場	参加者数
7.16-17	チャレンジスクール	館林市立第八小学校 6年	櫻尾正次 北山善夫	美術館	80
9.8、10.3	美術館に出かけよう	館林市立美園小学校 6年	伊藤佳之	館林市立美園小学 校、美術館	83
9.12-13	光の造形	館林市立多々良中学校 2年	伊藤佳之 神尾玲子	美術館	146

### 2. 研修等の受け入れ

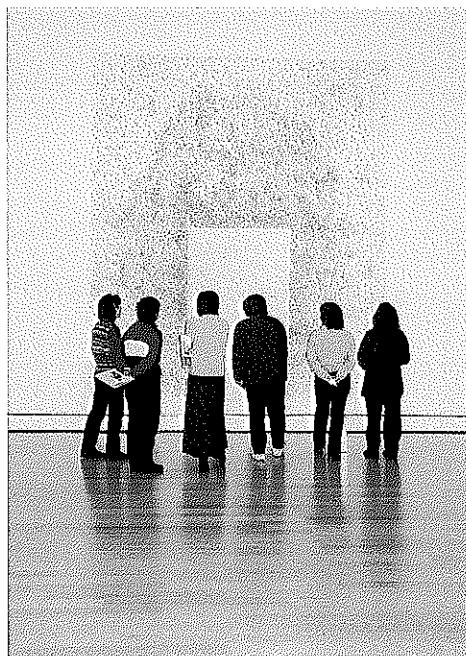
開催日	名称	人数
8.8	教職員による社会貢献活動体験研修	1

### 3. 団体観覧者への解説

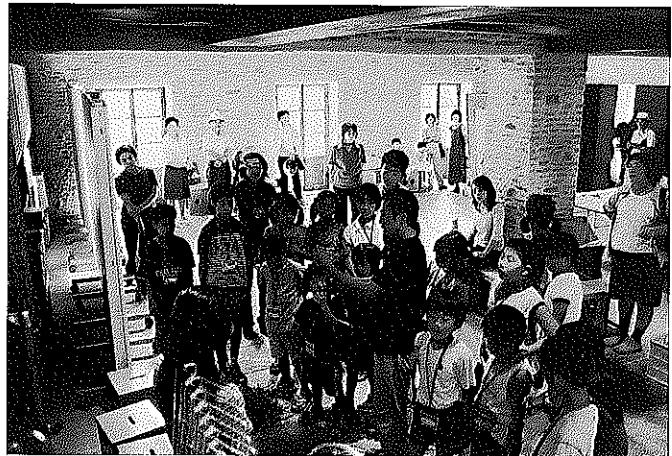
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
団体数	7	17	15	6	12	11	32	31	6	4	6	9	156
人数	194	904	611	199	361	550	1,215	1,104	215	158	127	264	5,902



記念講演会「北大路魯山人と陶芸」



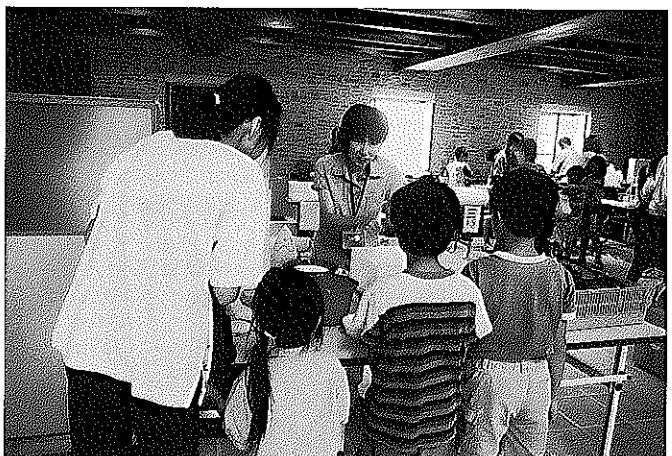
サンダー・ギャラリートーク



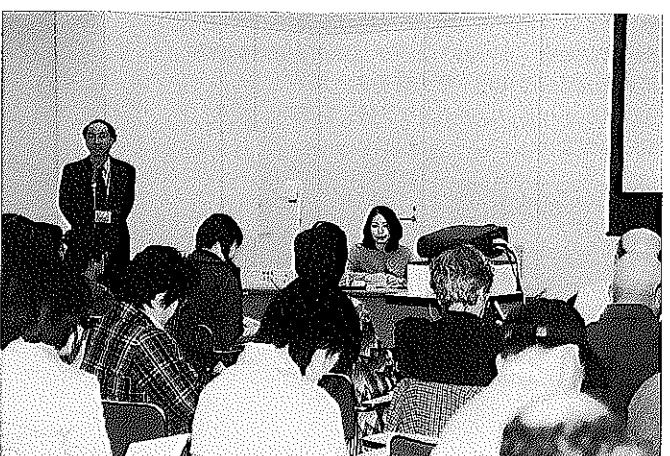
紙であそぼう！ その1 海藻紙でつくるふしぎなかたち



上から“たからもの”



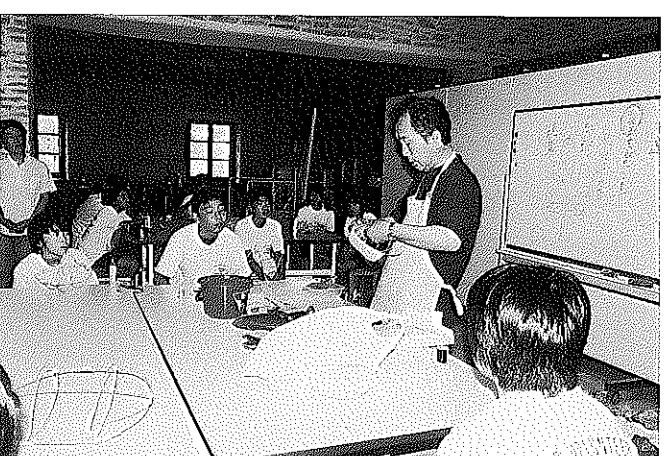
創作体験コーナー みんなのアトリエ



工芸のいまを知る



GMAT 探検隊 美術館の七不思議



チャレンジスクール

## I | 刊行物

(展覧会関連のものは、各展覧会の項に記載)

◎GMAT News (A4判、4頁、発行部数8,000部)

GMAT Newsは、企画展示やコレクション展示、講演、ワークショップ、ギャラリートークなどの館行事の紹介や、所蔵品の解説などによって内容を構成している。館の事業の広報をはかるとともに、美術及び美術館に対する県民の理解を深めることを目的として、年4回発行。

• GMAT News 03 平成14年6月1日発行

表紙 不思議いっぱい 紙のワンダーランド展出品作品紹介

デイヴィッド・ホックニー

《飛び込み板と影のある緑のプールB、ペーパー・プール3》1978年  
企画展のご案内「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」

コレクション展示のご案内 6月4日(火)～7月7日(日)

所蔵作品紹介 イサム・ノグチ《リス》1984-88年

次回企画展のご案内「北大路魯山人展」

企画展レポート「ニルス=ウド展 自然へ」より

友の会だより



• GMAT News 04 平成14年9月1日発行

表紙 北大路魯山人《雲錦大鉢》昭和10年代 解説

館長就任にあたって 群馬県立館林美術館長 木島俊介

所蔵作品紹介 エドワード・バーン=ジョーンズ『フラワー・ブック』

より《もつれた愛》1882-98年、1905年刊行

企画展のご案内「北大路魯山人展一食のこころ、器のたのしみ」

美術講座・ワークショップ参加者募集のお知らせ

美術講座「工芸の現在を知る」、ワークショップ「木版のあじわい」

友の会だより



• GMAT News 05 平成14年12月1日発行

表紙 バリー・フラナガン《仔象》1984年 解説

コレクション展示のごあんない

小企画のごあんない 「コレクションにみる線の魅力」

12月5日(木)～平成15年2月2日(日)

友の会だより

「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」教育普及活動レポート

GMAT探検隊・ワークショップ参加者募集のお知らせ

GMAT探検隊「動物さがし、人さがし」

ワークショップ「ハクチョウ観察隊」



• GMAT News 06 平成15年3月1日

表紙 みどりのちから－日本近現代絵画にみる植物の表現－出品作品

紹介 土田麦僊《甜瓜図》1931年

企画展示のごあんない 「みどりのちから－日本近現代絵画にみる植物の表現－」

コレクション展示のごあんない 6月7日(土)～7月6日(日)

次回展示のごあんない 「親子のための美術館 動物、アートとなる」

友の会だより 関連事業参加者募集のお知らせ

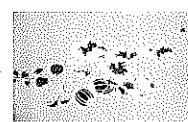
子どもミュージアム・スクール

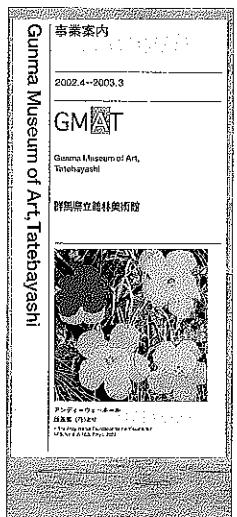
GMAT探検隊 美術館の七不思議

子どもギャラリートーク

「みどりのちから」記念講演会参加者募集のお知らせ

お申し込み・お問合せ先

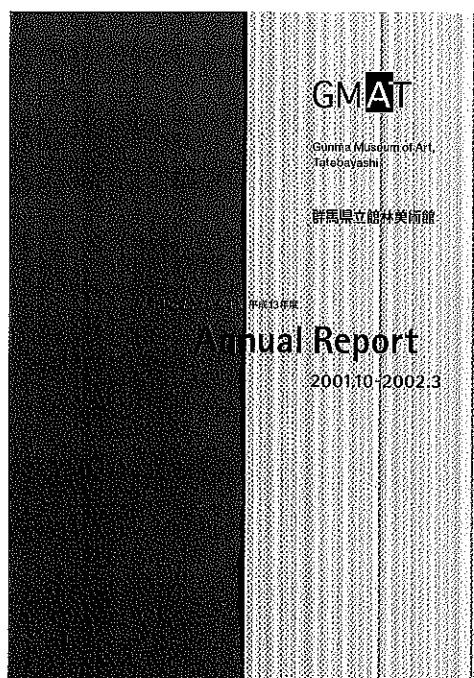




◎群馬県立館林美術館平成14年度  
事業案内  
B4変形、4つ折り  
平成14年3月発行  
発行部数30,000部



◎群馬県立館林美術館平成15年度  
事業案内  
B4変形、4つ折り  
平成15年3月発行  
発行部数35,000部



◎群馬県立館林美術館平成13年度年報  
A4判 56頁  
平成15年3月発行  
発行部数1,000部

## J | ボランティア

「ニルス＝ウド展 自然へ」における公開制作、及び「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」における「創作体験コーナー みんなのアトリエ」開催時に、作業補助ボランティアを募集した。

期日	名称	人数
H14.3.22-29	「ニルス＝ウド展 自然へ」公開制作ボランティア	9
7.25-9.12	「創作体験コーナー みんなのアトリエ」作業補助ボランティア	7

## K | 友の会（群馬県立館林美術館友の会）

### 1. 運営会議

- (1) 総会（6月29日）
- (2) 理事会（6月29日）；会運営の方針等重要事項の審議
- (3) 運営委員会（4回、6月13日、7月24日、10月23日、12月25日）；事業の企画運営等具体的な事業の協議

### 2. 美術館協力支援事業

- (1) ミュージアム・ショップの運営（4月～3月、12ヶ月）；展覧会図録、ポストカード、美術関係書籍その他を展示販売し、来館者へのサービスに努めた。
- (2) 美術館支援；美術館活動に必要な図書の寄贈。（「美術史の基礎概念」ほか16冊）

### 3. 会員対象事業

- (1) 美術館情報の提供；4回。会員に対し、「GMAT News」、展覧会・美術館事業の広報資料を送付。
- (2) ミュージアムツアーの開催；美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者数47名。  
訪問先：川村記念美術館、佐倉市立美術館
- (3) ニューイヤー・コンサート（1月10日）；音楽（シャンソン）の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者数173名。出演者：いしづかびんが



ニューイヤー・コンサート

## A 美術作品

## 1.作品収蔵状況 平成15年3月31日現在

作家区分	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
<b>部門</b>										
日本画	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
油彩その他	2	0	2	4	0	4	6	0	6	12
水彩・素描	0	0	0	1	0	1	8	0	8	9
版画	0	0	0	248	145	393	32	0	32	425
写真	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2
彫刻	0	0	0	2	2	4	122	0	122	126
染織・工芸	0	0	0	3	0	3	4	0	4	7
計	3	0	3	258	147	405	174	0	174	582

## 2.平成14年度 収蔵作品

平成14年度においては、油彩その他1点（購入1点）、彫刻2点（寄贈2点）、版画2点（購入2点）、写真2点（購入2点）の計7点を新たに収蔵した。以下、各区分ごとに日本人作家、外国人作家の順番に分け、前者は五十音順、後者はアルファベット順に配列している。

各作品データは、以下の順に記した（版画等は、共通するデータを最初に記した）。

- ・作者名（生没年）
- ・作品名
- ・制作年（日本人作家の場合は元号も付した）
- ・技法・材質
- ・寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行き、単位はcm、版画作品は原則としてイメージサイズを示す）
- ・サイン、年記、その他の記載事項（版画作品の場合は原則として限定番号を記した）
- ・発表展覧会および受賞記録
- ・受入種別（寄贈の場合は寄贈者名を併記）
- ・受入番号

<油彩その他>

ベン・ニコルソン(1894-1982)

Ben NICHOLSON

コンポジション 1947

Composition 1947

1947年

油彩、鉛筆、コンテ鉛筆・板

45.7×45.7

画面左下にサイン：Ben Nicholson

作品裏面にイニシャルでサイン、サイン、制作場所・日付・題名の記載、

制作目的：

BN design for ASCHER square April 7-47

NICHOLSON, CHYAN KERRIS, CARBISBAY, CORNWALL.

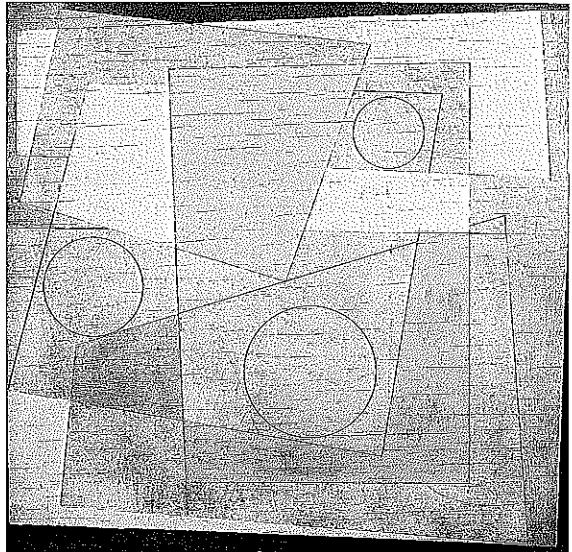
色指定の記載、のちに上から波線によって消されている。：

The penciled lines & circle are to be 'pencil-grey' & not black

The pale grey passages are to be the natural white silk

購入

579



<彫刻>

西村陽平

NISHIMURA Yohei

開館記念特別展示「自然と人間」2001

2002年（平成14）

紙（展覧会カタログ）

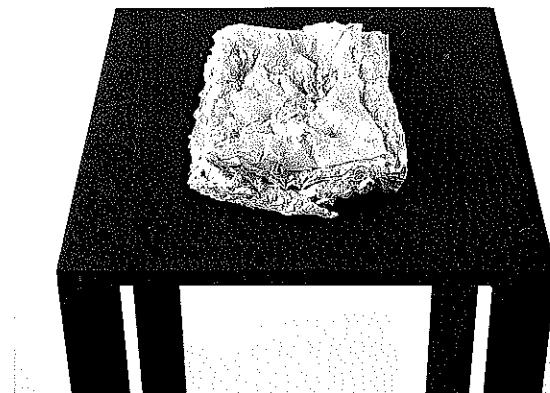
4.5×28.0×19.0

群馬県立館林美術館 親子のための美術展 素材との対話シリーズその1

「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」（2002年）

作者寄贈

581



西村陽平

NISHIMURA Yohei

「ニルス=ウドー自然へ」2002

2002年（平成14）

紙（展覧会カタログ）

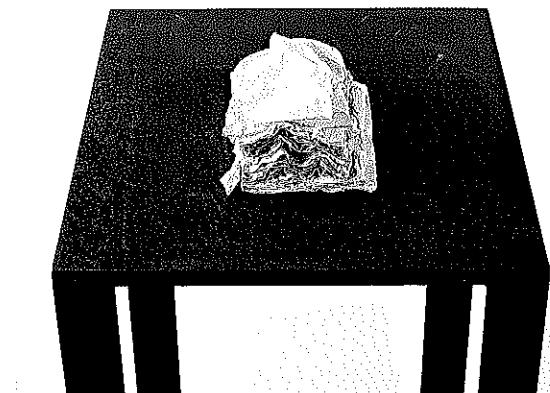
9.3×15.5×13.8

群馬県立館林美術館 親子のための美術展 素材との対話シリーズその1

「不思議いっぱい 紙のワンダーランド」（2002年）

作者寄贈

582



<版画>

ピエール・アレシ NSKY

Pierre ALECHINSKY

手探しで

Blindly

1974年

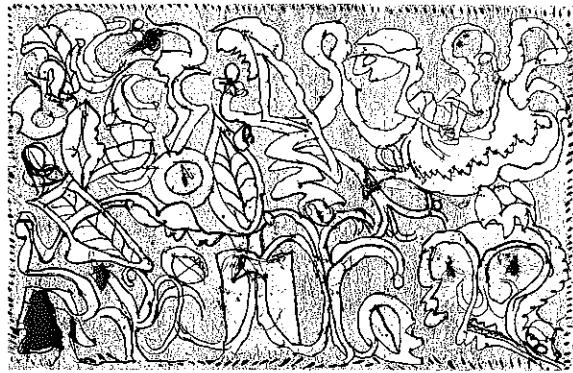
エッティング、アクアチント・和紙

184.8×284.5

画面左下に青鉛筆で3/40、赤鉛筆でAlechinsky

購入

578



ラウル・デュフィ

Raoul DUFY

ギヨーム・アポリネール『動物詩集、あるいはオルフェウスのお供たち』(全44点)

Apollinaire, Bestiary or Parade of Orpheus

1911年刊行 (補遺は1931年)

木版・紙

エディションNo106／120+H.C.2 補遺エディションNo.7／30

エディション番号は巻末にデュフィと愛好家のサインと共に記される。

補遺エディション番号は、補遺巻末にデュフィと愛好家のサインとともに記される。

その他、巻頭にアポリネールの献辞、巻末にアポリネールによる詩の書き込みとサイン (共にペン書き)

購入

580

GUILLAUME APOLLINAIRE.

## LE BESTIAIRE

ou

## CORTÈGE D'ORPHÉE,

Illustré de Gravures sur bois

PAR

RAOUL DUFY.



PARIS,  
BEPLANCHE, ÉDITEUR D'ART,  
16, Rue de la Chassée d'Antin et 71, Faubourg du Temple.

MCMXL.



ORPHÉE.

1. 表題挿絵

4.9×6.2

2. オルフェウス

25.6×20.5

3. 飾り文字A

1.6×1.8

ADMIREZ le pouvoir insigne  
Et la noblesse de la ligne :  
Elle est la voix que la lumière fit entendre  
Et dont parle Hermès Trismégiste en son Pinandre.

LA TORTUE.



Du Thrace magique, ô délire !  
Mes doigts sûrs font sonner la lyre.  
Les ultimes passent aux sons  
De ma tortue, de mes chansons.

4. 龜

20.3×19.3

LE CHEVAL.



Mes durs rêves formels sauront te chevaucher,  
Mon destin au char d'or sera ton beau cocher  
Qui pour rêves tiendra tendus à frénésie.  
Mes vers, les parangons de toute poésie.

LA CHÈVRE DU THIBET.



Les poils de cette chèvre et même  
Ceux d'or pour qui prit tant de peine  
Jason, ne valent rien au prix  
Des cheveux dont je suis épris.

LE SERPENT.



Tu t'abornes sur la beauté,  
Et quelles femmes ont été  
Victimes de ta cruauté !  
Ève, Eurydice, Cléopâtre :  
J'en connais encor trois ou quatre.

LE CHAT.



Je souhaite dans ma maison :  
Une femme ayant sa raison,  
Un chat passant parmi les livres,  
Des amis en toute saison  
Sans lesquels je ne peux pas vivre.

LE LION.



O lion, malheureuse image  
Des rois chus lamentablement,  
Tu ne naîs maintenant qu'en cage  
A Hambourg, chez les Allemands.

7. 蛇

20.4×19.4

8. 猫

20.6×19.3

9. ライオン

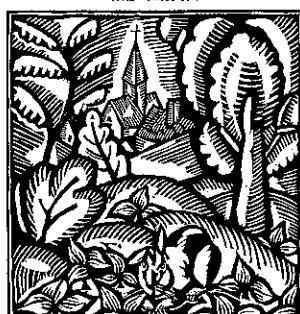
20.6×19.2

LE LIÈVRE.



Né sois pas lascif et peureux  
Comme le lièvre et l'amoureux.  
Mais, que toujours ton corbeau soit  
La base pleine qui conçoit.

LE LAPIN.



Je connais un autre comin :  
Que tout vivant je voudrais prendre.  
Sa garenne est' parmi le thym  
Des vallons du pays de Tendre.

LE DROMADAIRE.



Avec ses quatre dromadaires  
Don Pedro d'Alfurouboira  
Courut le monde et l'admirâ.  
Il fit ce que je voudrais faire  
Si j'avais quatre dromadaires.

10. 野うさぎ

20.3×19.4

11. 家うさぎ

20.3×19.3

12. ラクダ

20.4×19.4

LA SOURIS.



Belles journées, souris du temps,  
Vous rongez peu à peu ma vie,  
Dieu ! je vais avoir vingt-huit ans,  
Et mal vécus, à mon envie.

L'ÉLÉPHANT.



Comme un éléphant son ivoire,  
J'ai en bouche un bien précieux,  
Poupre mort ! J'achète ma gloire  
Au prix des mots méloquens.



ORPHÉE.

13. ハツカネズミ

21.0×19.2

14. 象

21.0×19.2

15. オルフェウス

25.5×20.6

LA CHENILLE.



EGARDEZ cette troupe infecte  
Aux mille pattes, aux cent yeux :  
Rouffres, circons, insectes  
Et microbes plus merveilleux.  
Qui les sept merveilles du monde  
Et le palais de Rosenmorde !

LA MOUCHE.



Nos mouches savent des chansons  
Que leur apprirent en Norvège  
Les mouches gâtiques qui sont  
Les divinités de la neige.

16. 飾り文字R

1.8×1.8

17. 毛虫

20.4×19.4

18. ハエ

20.3×19.4

LA PUCE.



Puces, amis, amantes même,  
Qu'ils sont cruels ceux qui nous aiment !  
Tout notre sang coule pour eux,  
Les bien-aimés sont malheureux.

LA SAUTERELLE.



Voici la fine sauterelle,  
La nourriture de saint Jean.  
Puisson mes vers être comme elle,  
Le régal des meilleures gens.



ORPHÉE.

19. ノミ

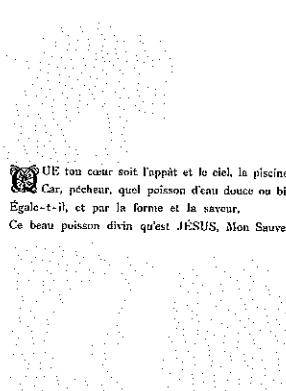
20.4×19.5

20. イナゴ

20.4×19.4

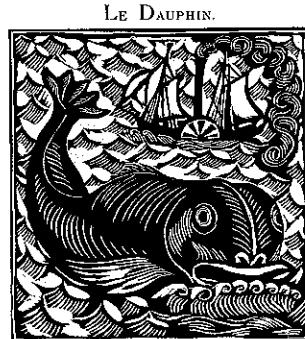
21. オルフェウス

25.8×20.6



**UE ton cœur soit l'appât et le ciel, la piscine!**  
Car, pêcheur, quel poisson d'eau douce ou bien marine  
Égale-t-il, et par la forme et la saveur,  
Ce beau poisson divin qu'est JÉSUS, Mon Sauveur?

22. 飾り文字Q  
1.9×1.7



Dauphins, vous jouez dans la mer,  
Mais le flot est toujours amer.  
Parfois, ma joie éclate-t-elle?  
La vie est encore cruelle.

23. イルカ  
20.4×19.5

#### LE DAUPHIN.



Jetant son encr vers les cœurs,  
Sugant le sang de ce qu'il aime  
Et le trouvant délicieux,  
Ce monstre inhumain, c'est moi-même.

24. タコ  
20.2×19.4

#### LE POULPE.



Méduses, malheureuses têtes  
Aux chevelures violettes  
Vous vous plaisez dans les tempêtes,  
Et je m'y plas comme vous faites.

25. クラゲ  
20.3×19.4

#### LA MÉDUSE.



Incertitude, ô mes délices  
Vous et moi nous nous en allons  
Comme s'en vont les cœrisses,  
A reculons, à reculons.

26. ザリガニ  
20.2×19.4

#### L'ÉCREVISSE.



Dans vos viviers, dans vos étangs,  
Carpes, que vous vivez longtemps !  
Est-ce que la mort vous oublie.  
Poissons de la mélancolie.

27. 鯉  
20.2×19.4

#### LA CARPE.



ORPHÉE

28. オルフェウス  
25.6×20.5

A feuille de l'aleyon.  
L'Amour, les volantes Sirènes,  
Savent de mürtelles chansons  
Dangerous et inhumaines.  
Noyez pas ces oiseaux maudits,  
Mais les Anges du paradis.

29. 飾り文字L  
1.8×1.9



Saché-je d'où provient, Sirènes, votre eau?  
Quand vous vous lauez, au large, dans la nuit?  
Mer, je suis, comme toi, plein de voix machinées  
Et mes vaisseaux chauvants se noient les années.

30. 人魚たち  
20.4×19.5

LA COLOMBE.



Colombe, l'amour et l'esprit,  
Qui engendrées Jésus-Christ,  
Comme vous j'aime une Marie.  
Qu'avez elle je me marie.

31. 白鳩  
20.3×19.4

LE PAON.



En faisant la ruse, cet oiseau,  
Dont le plumage traîne à terre,  
Apparaît encore plus beau,  
Mais se découvre le derrière.

32. クジャク  
20.4×19.0

LE HIBOU.



Mon pauvre cœur est un hibou  
Qu'un clocheton décloche, qu'un recloue.  
De sang d'ardeur, il est à bout,  
Tous ceux qui m'aiment, je les loue.

33. ミミズク  
20.4×19.0

IBIS.



Oui, j'irai dans l'ombre terreuse,  
O mort certaine, ainsi soit-il!  
Latin mortel, parole affreuse,  
Ibis, oiseau des bords du Nil.

34. アイビス  
20.4×19.4

LE BOEUF.



Ca chérubin dit la louange  
Du paradis, où, près des anges,  
Nous revivrons, mes chers amis  
Quand le bon Dieu laura permis.

35. 牡牛  
20.0×19.0



NOTES.

Admire la puissance insigne  
Et la noblesse de la ligne.  
Il faut la ligne qui a fondé les images, magnifiques ornements de ce divertissement  
judaïque.

Elle est la voix que la lumière fit entendre  
Et dont parla Hermès Trismégiste en son Pimandre.  
« Étoile, il me dans la Platonie, descendante des Mémoires, et il en apporte un très  
luminos et brillant éclat. »

Cette voix de la lumière, n'est-ce pas la chanson d'Orphée? C'est-à-dire la ligne? Si quand le bœuf  
s'exprime pleinement tout se rebelle. Le sentiment est profondément en langage harmonieux.

Du Thrace magique.  
Orphée était nanti de la Thrace. Ce rubâme poète jouait d'une lyre que Marsyas lui  
avait offerte. Elle fut comparée d'une manière de tableau, de très belle à l'extreme, de  
doux et de doux. Il fut alors jugé que l'art de faire jouer la lyre devait être réservé aux dieux.  
Orphée fut alors condamné à être pendu au tronc d'un arbre. Quand Orphée jouait en chantant,  
les oiseaux s'envolaient vers lui, et même renvoyaient devant son cantique. Orphée finit toutes  
les batailles, toutes les guerres, toutes les malices dans la mort, et réussit à éveiller à grande difficulté  
l'extinction de SAUVEUR.

36. 註釈ページの帯状飾り  
7.8×19.5

Quand le bon Dieu laura permis.

Cette qui dessine et qui peint se reconnaissent et savent que la perfection qui  
est dans l'art. Et cette force humaine, cette expressivité, cette noblesse, obéissent nécessairement aux deux  
façons de voir qui pour lui que de la discrépance et de l'opposition? Cela paraît impossible, et à moins  
que les peintres ont le droit d'apporter quelque chose au-delà de leur œuvre de bouteur pénitentiel que j'ose dire  
l'entière connaissance de l'œuvre, c'est à dire de la sublime beauté.



37. 註釈最終ページの飾り  
7.9×7.9

### LE BESTIAIRE

#### ou le CORTÈGE

#### D'ORPHÉE

a été entièrement imprimé sur une

page à tête d'Edmond GAUTIER-

VILLEMIN, éditeur de Grands Albums,

pour M. DPLANTÉ, éditeur Général.

Chacune d'entre elles, à la page de

Cade, par M. REAULDE, graveur.

Commandé le 6 Octobre 1921 sous la

direction de M. DUQUET, député à

et de l'Assemblée Législative dans jusqu'au

15 octobre 1922. On a tiré 100 exemplaires

pour 100 francs, et 1000 exemplaires

pour 10 francs.

Les planches reçues au couvent, on a dû faire

2 exemplaires destinés au dépôt légal.



N° 106.

R. Dufy

38. 卷末表題飾り文字L  
1.8×1.9

39. 卷末表題下部帯状飾り  
2.0×19.8

### GUILLAUME APOLLINAIRE.

### LE BESTIAIRE

ou

### CORTÈGE D'ORPHÉE,

SUPPLÉMENT

LES DEUX POÈMES REPUSÉS

Illustrations de Guillaume Apollinaire

par

RAOUL DUFY



PARIS,  
AUX DÉPENS D'UN AMATEUR  
MCMXXI.

37. 註釈最終ページの飾り  
7.9×7.9

38. 卷末表題飾り文字L  
1.8×1.9

39. 卷末表題下部帯状飾り  
2.0×19.8

40. 補遺 表題挿絵  
5.1×6.3

Le Condor.



Cet oiseau s'appelle condor.  
Et que les filles ne l'ont-elles!  
Savez-vous quoi? Il n'est pas d'or,  
L'anneau merveilleux d'Hans Carvel.

41. 補遺 コンドル  
20.8×19.4

Le Morpion.



Imitez la ténacité  
Du cet insecte qu'on méprise.  
Dames, Messieurs, qui vous grattiez,  
Il ne lâchera jamais prise.

42. 補遺 毛ジラ  
20.8×19.4

LE SUPPLÉMENT  
du BESTIAIRE  
ou CORTÈGE  
D'ORPHÉE  
a été entièrement imprimer sur une presse  
à bois de l'imprimeur GAUTHIER-  
VILLARS, 56 Quai des Grands-Augustins,  
pour un amateur par M. PROHINET,  
graveur, et a été alors d'imprimer le  
15 juillet 1921. On a été, en tout, sur  
papier des monnaies impérial du  
Japon, 25 exemplaires, très nombréables à la  
presse. Les planches repêchées au corset, en  
a été 1 exemplaire destiné au dépôt Mus.



R. J. Raoul Dufy

N° 7.

43. 補遺 卷末表題飾り文字 L  
2.5×3.2  
44. 補遺 卷末表題下部帶状飾り  
2.2×19.4

<写真>

ニルス=ウド

NILS-UDO

水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、

芝の植栽

Waterhouse / Spruce Trunks, Birch Branches,

Willow Switches, Lawn Planting

制作地：北海沿岸、クックスハーフェンの干潟

Tidal Flat near Cuxhaven, North Sea Coast

1982年

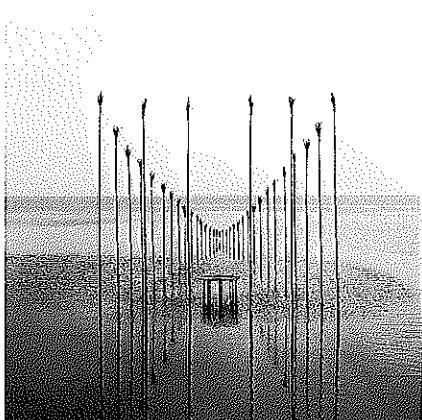
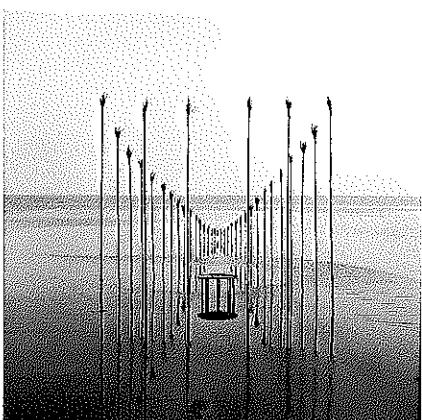
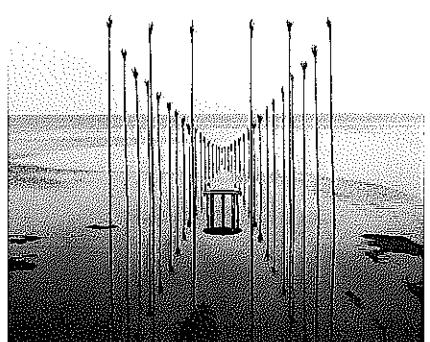
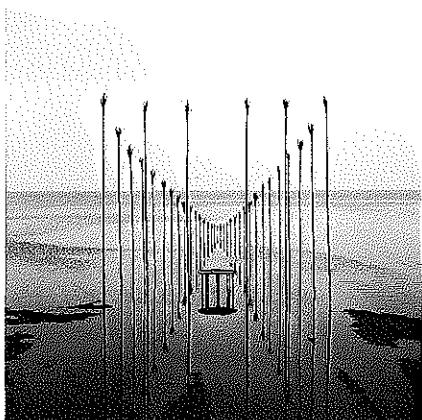
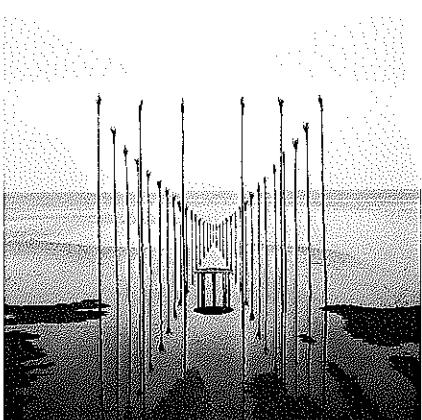
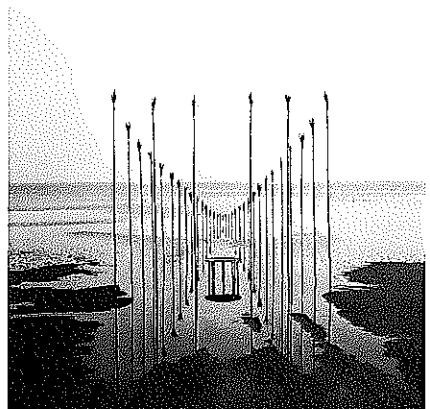
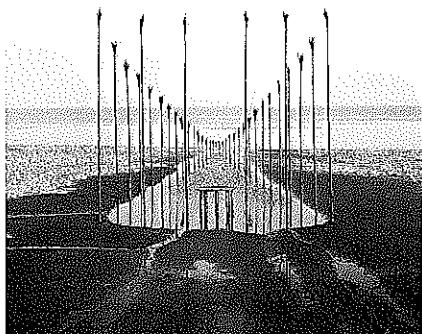
ゼラチン・シルバー・プリント

125.0×132.0 (7点)、125.0×140.0 (1点)

裏面にエディション番号として「1/5」と記載

購入

576



NILS-UDO

ナラの葉

Oak Leaves

制作地：フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖

Vassivière, Limousin, France

1986年

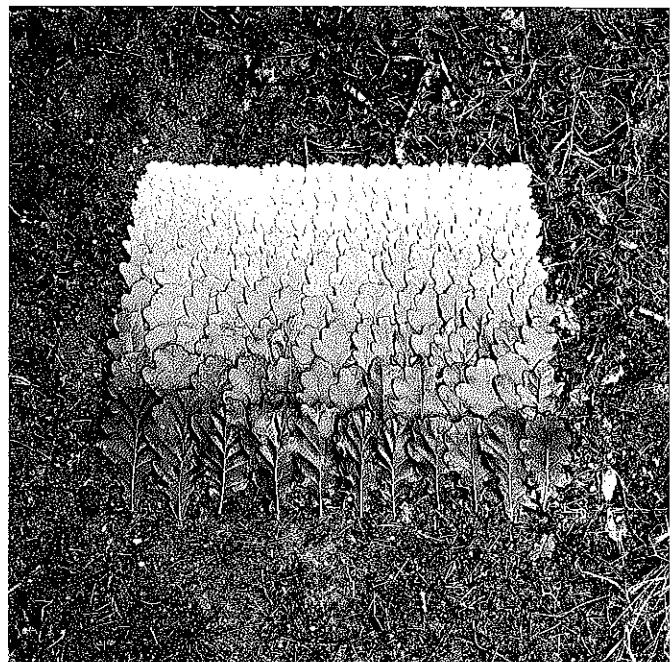
イルフォ・クローム

100.0×100.0

裏面にエディション番号として「5/8」と記載

購入

577



### 3.平成14年度 寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)
草間彌生	無限の網 宇宙にかえる個々の周辺	1989	アクリル・カンヴァス	162.2×130.4
草間彌生	Dots (流星の墓場)	1989	アクリル・カンヴァス	162.3×130.5
草間彌生	Infinity Nets B.A.Q.	1989	アクリル・カンヴァス	162.3×130.5
草間彌生	無限の網 永劫回歸	1989	アクリル・カンヴァス	162.0×130.3
草間彌生	Infinity Nets (2.Q.O.)	1989	アクリル・カンヴァス	162.2×130.3
草間彌生	Dots	1989	アクリル・カンヴァス	162.2×130.3
草間彌生	Dots (2.Q.B.)	1989	アクリル・カンヴァス	162.0×130.5
草間彌生	無限の網 天の彼方まで	1989	アクリル・カンヴァス	130.0×162.2
南城一夫	フルート奏者	1971	油彩・カンヴァス	23.5×32.5

藤牧義夫関連資料 全17点

### 4.館蔵作品貸出状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
小林孝亘	Cloud	兵庫県立美術館	開館記念展 美術の力—時代を拓く7作家—	兵庫県立美術館— 企画展示室、ギャラリー 7.13-8.25
小林孝亘	Cloud	東京都現代美術館	days おだやかな日々	東京都現代美術館 1.11-3.23

### 5.保存・修復

#### 修復等

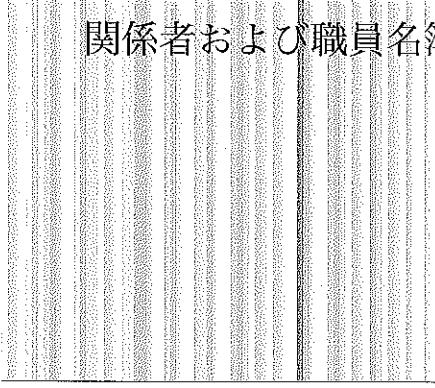
作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング

## B | 図書資料その他

平成14年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	255	46	6	0	0	0	307
寄贈	61	103	410	85	19	13	691
計	316	149	416	85	19	13	998

## 関係者および職員名簿



(平成15年2月26日現在)

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名 職名

雪山行二 横浜美術館長

尾崎正明 東京国立近代美術館企画課長

水沢勉 神奈川県立近代美術館専門学芸員

横山勝彦 練馬区立美術館主査（学芸員）

---

## 職員名簿

(平成14年4月1日～15年3月31日)

館長 中山公男（4月1日～5月12日）

木島俊介（5月13日～）

副館長 尾内宏之

次長 大谷範幸

<総務課>

補佐兼総務課長 遠藤幸育

主任 戸谷毅史

主事 上野訓只

<教育普及課>

課長事務取扱 德江庸行（学芸課長）

主任学芸員 神尾玲子

主任学芸員 伊藤佳之

学芸員 熊谷ゆう子

教育普及員 田中未米（～4月30日）

天沼正江

福田育恵（5月1日～）

今村絵美

紅屋浩子

齋藤憲理

伊多波麻衣子（～2月20日）

阿南藍子

伊羅子典代（3月1日～）

<学芸課>

主幹兼課長 德江庸行

専門員（学芸員） 松下由里

学芸員 伊藤香織（8月1日～）

学芸員 中田宏明

資料整理員 斎藤久美子

---

群馬県立館林美術館年報 平成14年度

平成16年3月 印刷・発行

編集・発行 群馬県立館林美術館

〒374-0076

群馬県館林市日向町2003

Tel. 0276-72-8188

フォーマット・デザイン

矢萩喜徳郎

制作 上毎印刷工業株式会社

